



このまち思いエネルギー。

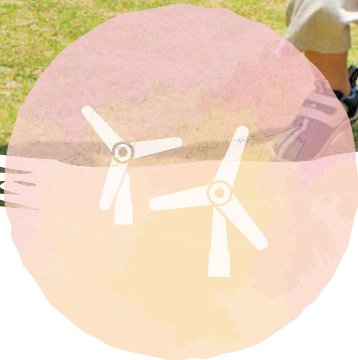
広島ガス

広島ガスCSR報告書

Corporate Social Responsibility Report

2020

持続可能な社会を私たちの手で：



このまちを思い、
このまちに寄り添う。
これまでも、これからも。

このまち思い
エネルギー。



CONTENTS

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	2
TOP MESSAGE	3
経営理念体系	4

TOPICS

① 新規事業の展開	5
② 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大	5
③ 新型コロナウイルス感染症拡大の防止に向けた取り組み	6
④ 広島ガス創立110周年記念事業	6

経営分野

都市ガス事業フロー、供給区域と体制	7
都市ガスの安定供給への取り組み	9
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	10
防災対策への取り組み	11
広島ガスグループの経営体制	13
中期経営計画	15
連結財務データ	17

環境分野

環境保全活動の基本的な考え方	21
① お客さま先での環境負荷の低減	23
② 事業活動における環境負荷の低減	25
③ 地域環境保全への貢献	27
環境負荷低減フロー（2019年度実績）	28
環境目標および実績	29
環境会計	30

社会分野

地域社会との関わり （芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援）	31
情報発信・お客さま満足度向上の取り組み	34
求める人材像 「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」	35
働きやすい職場環境をめざして	36
労働安全衛生の取り組み	37

CSR報告書2020によせて	38
広島ガスの概要	39
広島ガスグループの概要	40

CSR活動に対する 広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行こそが、大きな「社会的責任」であるとともに、お客さま先での便利で快適な生活や、エネルギーミックスの推進、地域活性化に貢献したいと考えています。

今後も持続可能な社会の実現に向け、天然ガス・LPガスの「ガス体エネルギーの普及拡大」と「エネルギーの高度利用」を基軸とした事業展開を行うとともに、コーポレート・ガバナンスの充実、地域貢献活動などを通じ、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

広島ガスCSR報告書2020

発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任（CSR: Corporate Social Responsibility）をはたしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2005年度から、「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

【報告対象】

【範囲】 広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」
【期間】 2019年4月から2020年3月までの活動（一部、2020年度の実績を含む）。本誌電子版および広島ガスグループ（主要子会社）の環境データをWebで公開しています。
(https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html)

【参考ガイドライン】

○環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」

TOP MESSAGE トップメッセージ

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆さまに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々、影響を受けられた方々には心からお見舞い申し上げます。



代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

広島ガスは1909年の創業以来、110年以上にわたり地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまに支えられて発展してまいりました。

広島ガスグループがはたすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えています。

CSR(企業の社会的責任)には「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうる経営計画の策定・実施を、環境的側面では、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しています。

私たちを取り巻く環境は、ガス・電力市場の小売全面自由化に伴い地域や業種を超えた新規、相互参入の動きが強まるなど、歴史的にも大転換期に突入しています。

このような状況のもと、2018年10月に新たな経営ビジョン「広島ガスグループ2030年ビジョン」を策定しました。2030年ビジョンのスローガンに「幸せにつながる感動発信」を掲げ、我々の「強い思い」を社内外へ発信し、すべてのステークホルダーの皆さまの「笑顔」と「幸せ」につながる未来を創造していくことで、2030年ビジョンに対する「共感」と「期待」へとつなげてまいります。

広島ガスグループでは、「環境負荷の低い天然ガスをはじめとするガス体エネルギーの一層の普及拡大」と「高効率機器の拡販やスマートコミュニティ事業、ESCO事業への参画をはじめとしたエネルギーの高度利用」を強く意識した事業活動を推進していくことで、地球環境に貢献してまいります。

また、私たち地域のエネルギー供給を担う事業者に課せられた使命である、「保安の維持・向上と安定供給の確保」にも引き続き注力してまいります。インフラ整備や現場力の向上を通じて、ハード・ソフト両面からより一層の保安に対する取り組みを進め、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。本業であるエネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切に、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。こうしたESG経営を意識した不断の取り組みを強化し続けていくことで、SDGsに掲げられた目標の達成につなげてまいります。

引き続きグループ役職員一丸となって、業務に精励し、「地域の好感度 No.1企業グループ」として、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

2020年7月

経営理念体系

経営理念

地域社会から信頼される会社をめざす

企業スローガン

このまち **思い** エネルギー。

広島ガスグループ2030年ビジョン (ビジョンスローガン)

幸せにつながる感動発信

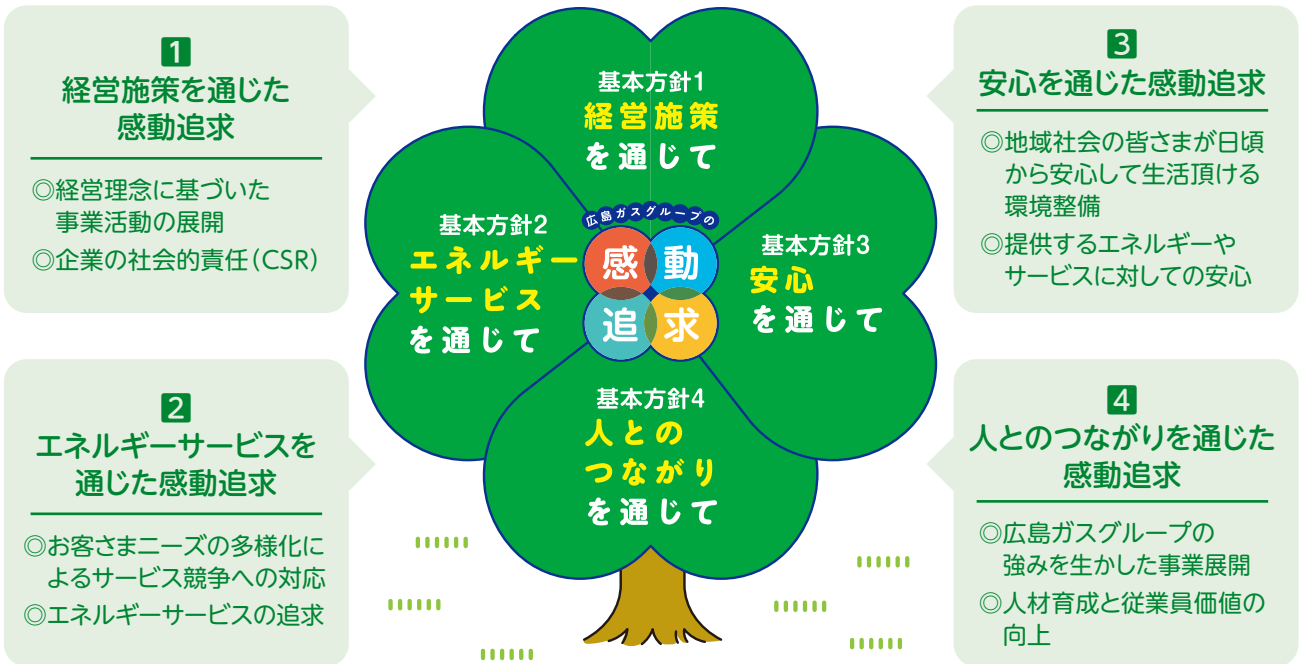
行動指針

広島ガスグループ行動宣言
広島ガスグループ社員行動指針

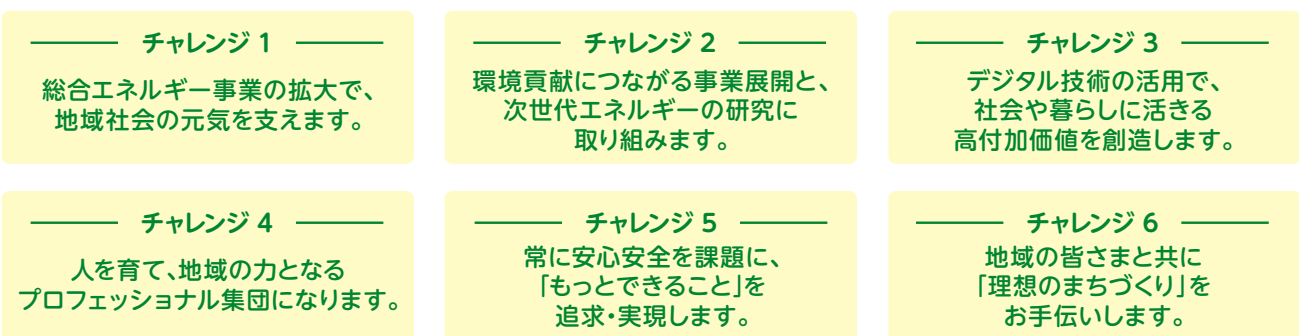
2030年ビジョンスローガンに込めた3つの思い

- 1 地域社会と共に発展する企業グループ
- 2 このまち思いエネルギー。
- 3 共感して頂ける感動を追求し発信

2030年ビジョン基本方針



2030年ビジョン基本戦略



中期経営計画の概要については → P.15

1 新規事業の展開

■ 米国ガス火力発電事業への出資参画

2020年3月、広島ガスは、東邦ガス(株)および西部ガス(株)と共に米国法人を設立しました。双日(株)および九州電力(株)が米国子会社を通じて保有する双日パースボロー社の持分の50%を取得します。

双日パースボロー社の持分取得を通じ、米国ペンシルベニア州パースボローのガス火力発電会社に出資し、広島ガスの実質的な出資比率は5.6%となります。

広島ガスにとって初めてとなる海外事業投資であり、投資リターンによる収益向上とともに、事業への参画による経験を活かした新たな事業展開や人材育成といった効果を期待しています。



パースボロー発電所

パースボロー火力発電事業の概要

項目	内容	
発電所名	Birdsboro(パースボロー)発電所	
出力	48.8万kW	
発電方式	ガスタービンコンバインドサイクル方式	
主要機器	GE製7HA.02型ガスタービン(単軸型)	
燃料	天然ガス(マーセラス・シェールガス田などから調達)	
売電先など	PJM(米国最大の電力市場)	
出資者	Ares EIF社(※)	1/3(33.33%)
	東京ガス株式会社	1/3(33.33%)
	双日パースボロー社	1/3(33.33%)

※ 米国の投資ファンドAresグループのエネルギー・発電案件などの開発事業者

■ 地域新電力会社「東広島スマートエネルギー株式会社」への出資

2020年2月、広島ガスは、東広島市が主体となって実施する地域新電力会社「東広島スマートエネルギー(株)」に向けた株主間契約を締結しました。

広島ガスは事業の一つであるESCO事業を推進し、東広島市が掲げる「東広島市環境先進都市ビジョン」の実現に向け、ガス体エネルギーや再生可能エネルギーなど、環境性に優れたエネルギーを活用したCO₂の削減やBCP機能の強化に寄与してまいります。



合意書締結式(東広島市役所)

2 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大

エネファームの普及拡大を通じて、環境にやさしい天然ガスのさらなる高効率利用に努めてまいります。

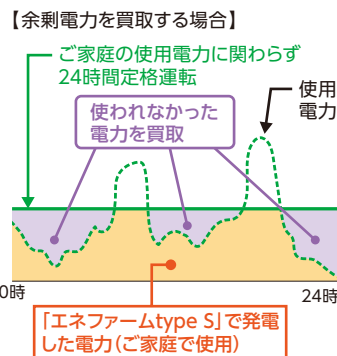
経済性 家庭用ガスコージェネレーションシステム契約

エネファームをご購入のお客さまに「家庭用ガスコージェネレーションシステム契約」の料金メニューを設け、安価なランニングコストで都市ガスをご使用いただいています。

発電余剰電力の買取

2019年4月から、「エネファーム type S」の発電余剰電力の買取を小売電気事業者である三井物産(株)と共同で開始しました。

使用電力に関わらず、24時間定格運転(700W)を行います。使用電力が少ない時間帯は、発電した電力がご家庭の使用電力を上回ります。発電した電力のうち、ご家庭で使われなかった電力は、広島ガスが買い取ります。



環境性 環境にやさしいエネファーム

天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくるエネファームは、従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t~2.3t抑える、エネルギー効率の高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

今後も一層エネファームの普及拡大に取り組み、お客さまの快適なくらしと省エネ・省CO₂に貢献してまいります。

防災性 停電時自立運転機能による安心感

災害時に停電が起きた場合も、照明や通信機器が使える電力を確保[※]でき、災害時にも、エネファームにより給湯や携帯電話の充電が可能になるなど、生活環境の維持に大きく貢献します。[※]自立運転機能付き機器に限る。

【エネファームの種類】

2016年4月から、「エネファーム type S」の販売を本格化しました。バリエーションが増えたことにより、さらに多くのお客さまにお使いいただけるようになっていきます。

【比較】	エネファーム type S	エネファーム
作動温度	約700℃~750℃	約60℃~80℃
電池の種類	固体酸化物形(SOFC)	固体高分子形(PEFC)
電解質	セラミックス	高分子膜
発電効率	49.6% ^{※1} (55.0%) ^{※2}	36.1%(40.0%) ^{※2}
備考	電気の使用量の割合が多いお客さま向け	お湯の使用量の割合が多いお客さま向け

^{※1} 余剰電力買取をしている場合など、3時間以上安定して定格発電を継続した際の発電効率で、それ以外の定格発電効率は48.7%になります。

^{※2} ()内の数値は、LHV(低位発熱量)基準です。

【エネファームの補助金(2020年度)】

国 募集期間: 2020年4月7日~2021年2月19日

補助金(定額)	基準価格以下	基準価格を上回り 裾切価格以下	裾切価格を上回る
固体高分子形(PEFC)	定額補助なし		補助対象外
固体酸化物形(SOFC)700W	4万円	2万円	

追加補助対象	追加補助額
建物区分: 既存	+3万円
燃料種類: LPガス対応	
システム仕様: 寒冷地仕様	
設置場所: マンション	

[※]詳細は(一社)燃料電池普及促進協会(FCA)のホームページをご参照ください。

地方自治体	補助金額	募集期間
広島市	3万円/台 × 350台	2020年4月15日~2021年1月29日
呉市	3万円/台 × 30台	2020年4月7日~2021年2月19日
三原市	7万円/台 × 20台	2020年4月7日~2021年2月19日
東広島市	15万円/台 × 10台 [※] HEMS(ホームエネルギー マネジメントシステム)設置必須	2020年4月6日~2021年2月26日
廿日市市	7万円以内(総額300万円) [※] 蓄電池などを含む	2020年4月15日~2021年1月29日

[※]詳細は各市のホームページをご参照ください。

[※]補助台数、予算総額に達した場合は、募集締め切りとなります。

3 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み

2020年2月頃から急拡大している新型コロナウイルス感染症は、世界・日本全国において、長期間にわたり見通しが立たない厳しい状況をもたらしています。こうしたなかで、広島ガスグループは、エネルギーの安定供給・保安の確保に最大限努めるとともに、お客さまならびに当社グループ従業員とその家族の健康や安全を確保するため、全力で感染防止に取り組んでいます。

1 ガス体エネルギーの安定供給・保安確保に向けた取り組み

原料調達業務・製造業務・供給維持業務・緊急保安業務

- LNG船からの原料の受入れについては、当社からの乗船者を最小限の人数に留め、マスク着用とアルコール消毒による感染防止策を講じたうえで、船陸の関係者が可能な限り接触しない方法で実施
- 交替勤務従事者については、通勤時の自家用車などの利用、その他の従事者については、自家用車などの利用や時差勤務の実施
- 中央制御室をはじめとした執務室への従事者以外の入室制限の強化
- 従事者が万一罹患した際の勤務体制の整備（組み替え、社内応援体制の準備など）
- 従事者以外の執務室への入室制限を行い、また、入室時はアルコール消毒、マスクの常時着用、離隔の確保などの徹底

2 お客さま向け業務に関する取り組み

- (1) お客さま宅での作業
 - ① お客さま宅内での作業を要する業務については、作業前段でお客さまへのお伺い、事前了解を徹底。当社グループ従業員は、出社前の検温・作業時のマスク着用などを徹底
 - ② お客さまからのご要望に基づく業務は、従業員の感染防止対策を徹底した上で実施
- (2) お客さまからの電話受付

お客さまセンターの交替勤務体制への移行を実施
- (3) 料金関連

2020年2月、3月、4月、5月、6月、7月検針分のガス料金の支払期限の延長対応
- (4) ショールームなど
 - ① 広島ガスショールームガストピア6施設の臨時休館（2020年4月20日～5月31日）
 - ② ガスショップ12店舗の窓口営業時間変更
 - ③ 施設貸出の受付、料理教室などの開催の中止

3 当社グループ従業員に関する取り組み

- マスク着用、手洗い、咳エチケットなど感染防止対策の徹底
- 出社前の検温および37.5℃以上の発熱がある場合は出社禁止
- 執務室の衛生管理の徹底（換気、ドアノブ・スイッチの消毒など）
- フレックス勤務などによる、時差出勤の実施
- 可能な職場における在宅勤務の実施
- 出張は国内、海外を問わず全面禁止
- 当社主催のイベントの中止もしくは延期
- 会議は中止または延期し、書類送付やWeb会議などで代替

4 地域への取り組み

- 飲食店様への物品・お弁当などの購入活動
- ガストピアセンタービジョンメッセージ表示
- 金曜日正午実施のFriday Ovation（医療・介護関係者の方々へ感謝を込めた拍手）



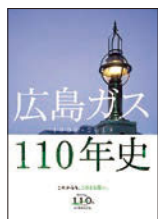
4 広島ガス創立 110 周年記念事業

2019年10月30日、広島ガスは創立110周年を迎えました。

この節目にあたり、「このまち」に住む地域の方々に感謝の気持ちを込めることを目的とし、各事業部から選出されたメンバーで構成される「110周年事業プランナー委員会」で検討、企画した、さまざまな記念事業を展開しました。

■ 広島ガス110年史 (2020年3月刊行)

節目の記録・保存を主な目的として110年史を制作し、ステークホルダー、役職員へ配布しました。100年（1909年～2009年）のダイジェスト、この10年（2009年～2019年）の記録、資料編などで構成しています。



■ 創立記念式典・記念講演会

広島ガス創立記念日である、2019年10月30日に、創立110周年式典、当社スキー部所属の竹内選手講演会を行いました。



■ ひろしま雪山誘客促進協議会へ子ども用スノーボード用品寄贈

2019年12月3日、広島県とスキー場がある県内4市町でつくる「ひろしま雪山誘客促進協議会」にオリジナルスノーボード用品110点を寄贈しました。



松藤社長から寄贈品目録を、竹内選手からオリジナルスノーボードを湯崎広島県知事に贈呈

■ 「このまち思い 広島ガスの森」開設

地域に根差したエネルギー供給企業として、CO₂削減、防災に貢献するため、広島ガス110周年を機に広島県と連携し、森林保全活動を開始。

広島県緑化センター内の8.13haにおいて、広島県と「森林保全・管理協定書」を締結し、「このまち思い 広島ガスの森」と命名し、森林保全活動イベントなどを展開しています。

2019年11月30日、110名の皆さまをご招待し、森びらきイベントを開催しました。



■ 養老孟司氏講演会

2019年11月4日、広島ガスが展開する科学講座「スーパーサイエンスミュージアム」事業の一環として、110名の皆さまをご招待しました。



■ アスリートフェスタ

スキー部、バドミントン部、ゲストを招いて、お客さま200人を対象とした「アスリートフェスタ」を2020年2月24日に予定しておりましたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を取り止めました。

経営分野

エネルギーの安定的かつ安全な供給、継続的な企業価値の向上をめざし、事業基盤の強化を図るとともに、経営の健全性・透明性の確保に努めていきます。

都市ガス事業フロー

原料の調達・輸送

原料となる天然ガスは、海外で採掘され、冷却(約-160℃)・液化し、LNG(液化天然ガス)として輸送



ロシア・プリゴロドノエ基地

[天然ガス採掘]

[LNG船]



都市ガスの製造

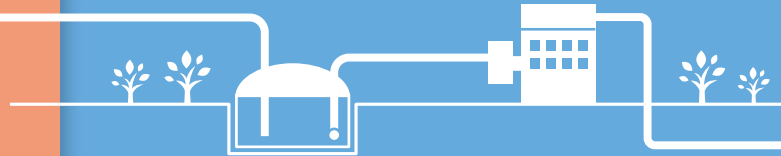
LNGは、LNG貯槽に受入れ、需要量に応じて気化した後、熱量調整などを行い、都市ガスとして送出



廿日市工場

[ピットイン式LNG貯槽]

[LNG気化器]



供給区域と体制

(2020年3月31日現在)

供給区域(広島県内7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数
414千戸

広島地区

お客さま戸数
350千戸



本社



可部基地



東広島製造所



海田基地

東広島製造所



廿日市工場

呉地区

お客さま戸数
47千戸



呉支店

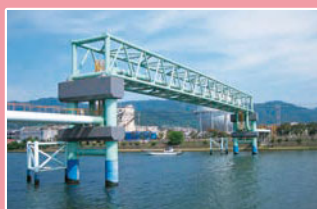


熊野基地

都市ガスの供給

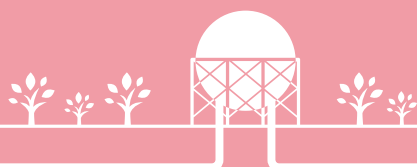
お客さま先で

地中に埋設した5,203kmの導管(本支管・供給管)を通じて、お客さま先まで供給



ガス管橋

【ガスホルダー】



お届けした都市ガスは、さまざまな用途でご使用



工場など

【工業用】



ホテル・ビル・学校など

【商業用】



厨房・給湯など

【家庭用】



広島県



備後工場

卸供給 (広島ガス)

連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の設備を活用した卸供給



水島ステーション
(瀬戸内パイプライン(株))



水島LNG基地
(水島エルエヌジー(株))

岡山県

水島ステーション
水島LNG基地

福山ガス(株)

備後工場

尾道支店

尾道・三原地区

お客さま戸数

17千戸



尾道支店

凡例

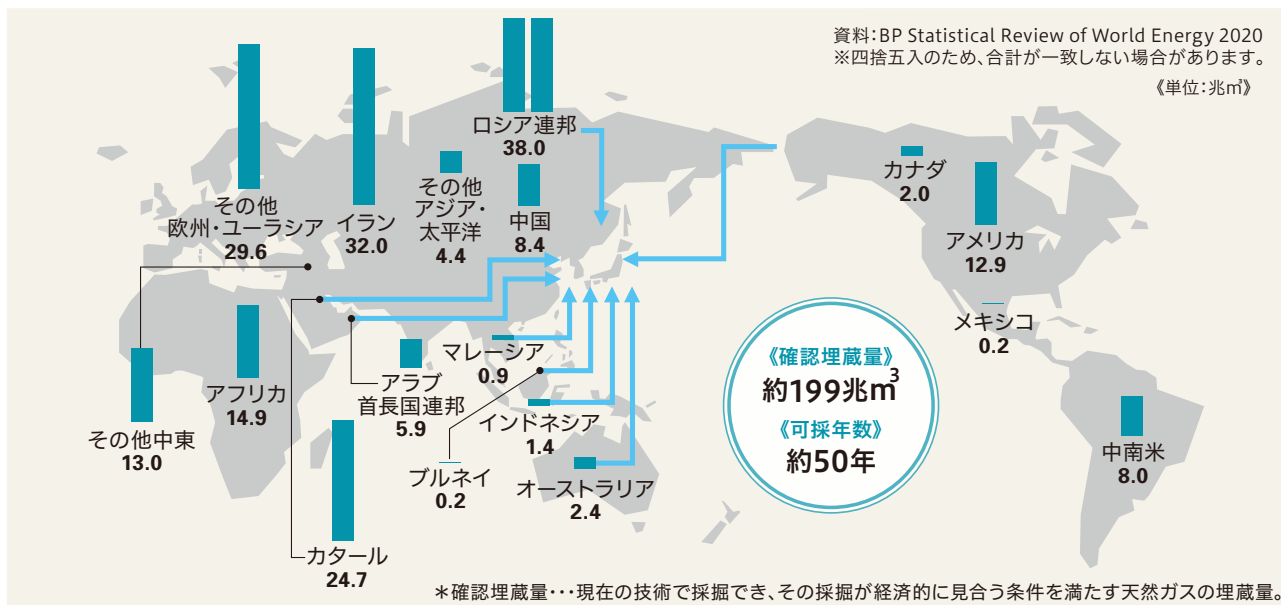
供給区域 (広島地区)		ガスホルダー	
供給区域 (呉地区)		ガス製造所	
供給区域 (尾道・三原地区)		本社・支店・基地	
幹線 (広島ガス)		検討中幹線	
		幹線 (瀬戸内パイプライン)	

都市ガスの安定供給への取り組み

都市ガスは、電気・水道と並び、地域を支える重要なライフラインの一つです。その都市ガスを安定的に供給することが、広島ガスの大きな「社会的責任」であると考えています。そのため、原料であるLNG(液化天然ガス)の調達・輸送から都市ガスの製造・供給に至るまで、国際情勢、エネルギー市場の動向および業界の動きなどを注視しながら、さまざまな施策を講じています。

都市ガスの原料

天然ガス確認埋蔵量(在来型ガス)



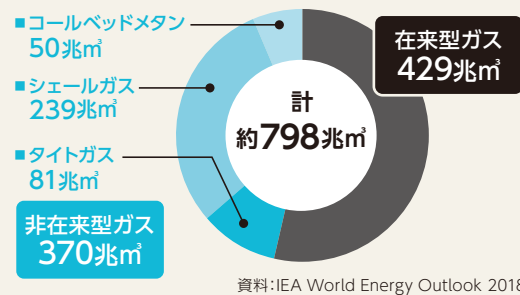
在来+非在来型天然ガス回収可能な埋蔵量

天然ガスは、世界に広く存在し、日本はLNG船でさまざまな国から輸入しています。

技術の向上によって従来は採掘困難であった、シェールガス、コールベッドメタン、タイトガスといった非在来型天然ガスが産出可能となり、安定した供給が見込まれています。また、2017年からアメリカ合衆国産シェールガスの日本への輸入が始まっています。

さらに、日本の近海には、日本の年間消費量の約100年分に相当するメタンハイドレートが存在しており、政府主導による開発が進められています。

天然ガス技術的可採埋蔵量



LNG安定調達に向けた取り組み

LNG調達先の多様化

近年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、広島ガスにおいても都市ガスの需要増に対応するため、LNG調達先の多様化を図っています。2016年以降のLNG調達は、サハリン(ロシア)、大阪ガス(株)、マレーシアからLNG売買契約に基づき、年間約40万tのLNGの調達が可能となっています。

また、広島ガス初の海外拠点となるシンガポール事務所を活用したシンガポールおよび周辺諸国でのエネルギー関連市場の情報収集などを通じて、将来のLNGの安定調達などに努めていきます。

【2016年以降のLNG調達】

調達先	年間契約数量	契約期間
サハリン	最大21万t	2008年4月～2028年3月
大阪ガス(株)	約5～13万t	2016年1月～2031年3月
マレーシア	約10万t	2016年4月～2026年3月
合計	約40万t	※年度により変動

中国電力(株)との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、LNGの調達において、中国電力(株)と相互協力協定を2006年6月に締結しています。

LNG輸送の効率化と輸送費低減

LNG輸送の効率化と輸送費低減を図るため、東京ガス(株)および東京エルエヌジータンカー(株)とLNG共同輸送契約(2020年度から2027年度までの8年間)を2020年2月に締結しています。

お客様の安心・安全に向けた取り組み

製造段階での保安

廿日市工場、備後工場、東広島製造所で都市ガスを製造しており、LNG（液化天然ガス）の受入れ、ガスの製造などについては、中央制御室で集中的にコントロールしています。

また、毎日の設備点検、定期的な保守や有事に備えた訓練を行うことで、安全かつ効率的に都市ガスを製造する体制を整えています。



中央制御室



廿日市工場消防訓練



緊急時対応技能コンクール

供給段階での保安

保安指令センターでは、工場で製造した都市ガスをお客様のもとへ安定してお届けするため、都市ガスの圧力、輸送状況などを常時監視しています。

また、緊急時に備えて、夜間・休日でも迅速に対応できるよう24時間受付・出動できる体制を整えています。



保安指令センター



保安車両



ガス管工事

消費段階での保安

お客様に安全にガスをご使用いただくために、ガス設備安全点検を行うほか、消費機器を正しく、安全に使用方法を記載したガイドブックを配布するなど、さまざまな保安活動に取り組んでいます。



ガス設備安全点検



ガスライフ安心ガイドブック

防災対策への取り組み

地震災害時などに備えたさまざまな対策を実施するとともに、災害発生時には迅速かつ適切に対応します。

地震防災対策3つの柱

いつでも安心して、ガスをお使いいただくために「設備対策」、「緊急対策」、「復旧対策」の3段階の対策に取り組んでいます。

設備対策

ガスをお届けする設備は高い耐震性を備えています。

緊急対策

速やかにガスの供給を停止し、二次災害を未然に防ぎます。

復旧対策

安全かつ速やかにガスの供給を再開します。

設備対策

地震による被害を最小限に抑えるため、製造設備からお客さまに都市ガスをお届けするガス導管に至るまで、さまざまな対策を実施しています。

《 LNG貯槽 》



貯槽タンクは地下に構築した外壁の厚さが2m以上のコンクリートピット内に据え付けられ、内部のLNG液面は地表よりも低く、万一の場合でも地上に漏れ出すことはありません。

《 高圧・中圧導管 》



高い圧力のガスを輸送する導管には、耐震性に優れ、大きな地盤変動にも耐える「溶接接合鋼管」を使用しています。

《 ガスホルダー 》



基礎部分は地中深くの支持地盤まで杭が打ち込まれています。その基礎の上に支柱と球体を設置し、大規模地震にも耐えられるよう設計・施工しています。

《 低圧導管 》



お客さまのご家庭にガスをお届けする導管には、耐震性、耐腐食性に優れた「ポリエチレン（PE）管」などを使用しています。なお、ポリエチレン管は一部の中圧導管でも使用しています。

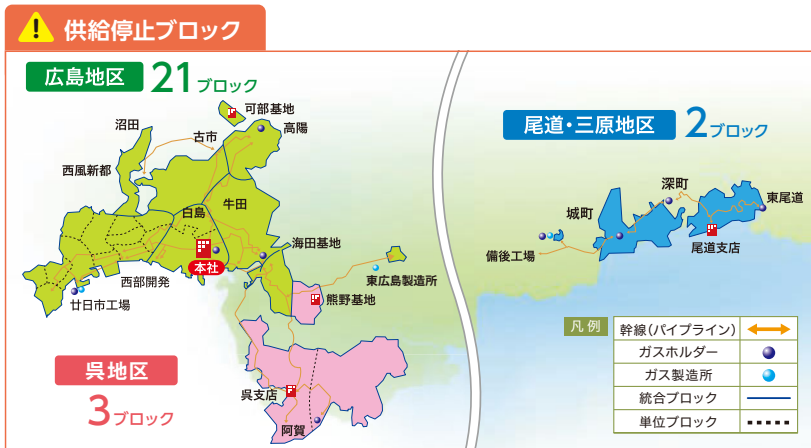
緊急対策

地震が発生した場合、二次災害を防ぐため、緊急停止判断基準によりあらかじめ定めた区域(ブロック)ごとにガスの供給を停止します。

【ブロック化】

被害の大きい区域だけ遠隔操作によりガスの供給を停止し、被害のない区域にはガスの供給を継続するため、導管網をブロック化しています。

また現在、ブロックをさらに細分化した小ブロック化を推進しています。2020年度をめどに現在の26ブロックを44ブロックにする計画です。

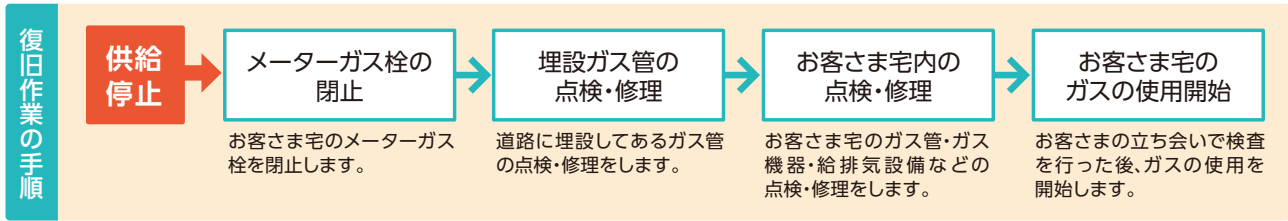


【マイコンメーター】

ガスを使用中に震度5程度以上の地震を感知すると、マイコンメーターの安全装置が作動し、お客さま宅のガス供給を自動的に遮断します。広島ガスでは、例外を除き、マイコンメーターを100%設置しています。

復旧対策

やむを得ずガスの供給を停止した場合、1日も早い「ガスの復旧」に向けた作業を以下の手順で行います。



【移動式ガス発生設備による臨時供給】

ガスの供給が再開するまで、移動式ガス発生設備により、病院などの社会的重要度の高い施設や、導管復旧に時間を要するお客さまに対しガスを臨時に供給します。



カードル車



個別供給

都市ガス事業者の応援体制

大規模な災害発生によりガスの供給が停止する場合などには、全国の都市ガス事業者は、(一社)日本ガス協会を通じて、復旧作業にあたる要員や資機材などを相互に協力しあう体制を確立しており、一日も早いガスの供給再開に向けて復旧作業に取り組みます。

広島ガス防災センタービル

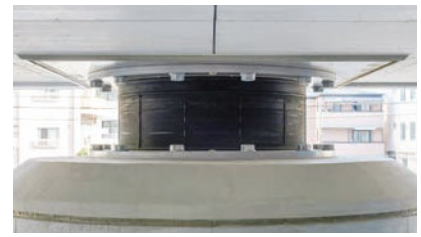


日常のみならず大規模災害発生時にも都市ガスの供給保安機能を堅持する防災拠点として、本社構内に広島ガス防災センタービルを建設し、2018年5月から運用を開始しています。本ビルは、災害対策本部をはじめ保安指令センターなどの供給保安機能を集約することにより、災害発生時における復旧対応の迅速化を図っています。

また、震度7クラスの地震にも耐えうる免震構造を採用するとともに、2階以上に事務所機能や空調・電気設備などを配置することで、津波などの浸水災害発生時における事業の継続、供給保安の確保に努めています。



保安指令センター



免震装置(柱頭免震構造)

保安対策の取り組み

工物品質や保安レベルの維持・向上のため、「本支管技能コンクール」や「保安技能大会」などを開催しています。また、毎年、大規模地震を想定した全社による総合防災訓練(初動対応、復旧計画の立案など)を実施しています。こうした取り組みを推進し、さらなる保安レベル・現場力の向上をめざしています。



本支管技能コンクール



保安技能大会



総合防災訓練
(広島ガス防災センタービル 災害対策本部会議室)

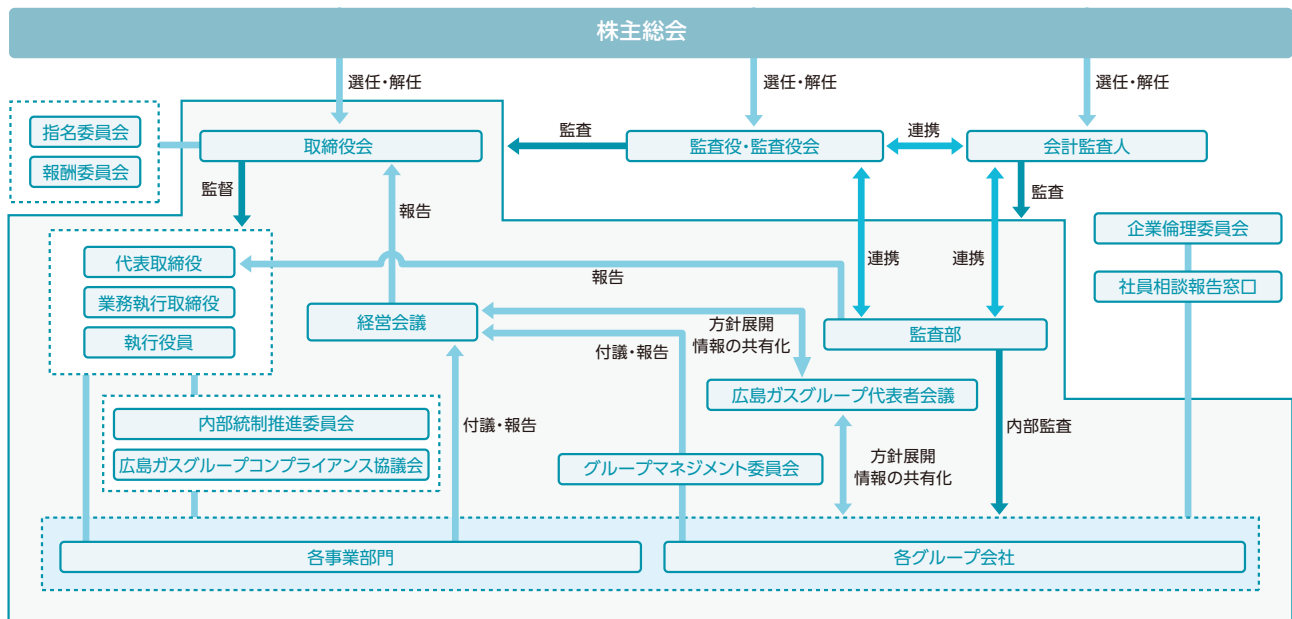
広島ガスグループの経営体制

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

健全で透明な企業経営を行い、お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えします

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、継続的な企業価値の向上を図るべく、経営の健全性・透明性の確保に向けた実効性あるコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制【概略図】



経営組織の構造 (2020年6月24日現在)

取締役会

取締役会は、社外取締役4名を含む11名で構成され、原則として毎月1回、また必要に応じて開催しています。取締役会においては、業務執行に関する会社の意思決定を行うとともに、業務執行権限のある取締役の業務執行を監督しています。また、グループ会社の経営状況の報告も行われ、経営全般の監督を行っています。

経営会議

経営会議は、取締役執行役員6名、社内監査役2名、執行役員8名で構成され、原則として毎月2回、また必要に応じて開催しています。経営会議においては、取締役会から委譲された範囲内で代表取締役の意思決定を行うとともに、当社の経営企画部長が委員長を務めるグループマネジメント委員会から業務の執行状況および経営状況の報告を受け、経営の監督を行っています。

監査役会

監査役会は、社外監査役2名を含む4名で構成され、各監査役は、監査役会が定めた監査方針および監査計画等に基づき実施する調査や取締役会等の重要な会議へ出席し、業務および財産の状況調査を通じて、取締役の業務執行を監査しています。また、必要に応じてグループ会社に対して業務執行状況の報告を求めるとともに、業務および財産の状況を調査しています。

監査部

監査部は、内部監査規程に基づき、当社およびグループ会社における会計、業務、コンプライアンス、情報システムおよびリスク管理等に係る諸状況を監査し、その結果を社長、経営会議、および監査役に報告しています。

指名委員会・報酬委員会

当社取締役の選解任および監査役の選任ならびに取締役の報酬に関する事項については、客観性・透明性を確保するため、その半数以上が社外役員で構成される指名委員会および報酬委員会での審議を踏まえて決定することとしています。

内部統制

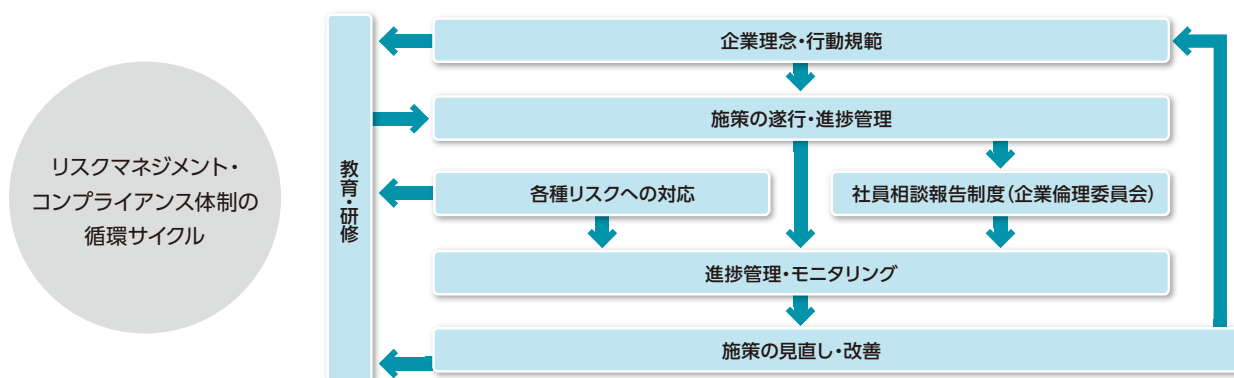
内部統制システムの構築に関する基本方針

広島ガスグループの事業は、都市ガスおよびLPガスのベストミックスによる、安定的かつ安全なエネルギー供給を含む適正なサービスの提供を使命とする、極めて高い公共性と社会的責任を有しているものと考えています。

この社会的使命を遂行し、お客さま、株主、投資家、従業員などのすべてのステークホルダーの信頼に応え、継続的な企業価値の向上を図るため、「内部統制制度の方針」を策定し、それに基づいて、リスクマネジメント・コンプライアンス活動を推進しています。

広島ガスグループのリスクマネジメント・コンプライアンス体制

経営理念「地域社会から信頼される会社をめざす」を実現するため、下図のようなリスクマネジメント・コンプライアンス体制を構築し、広島ガスグループ役職員が法令や社会的規範を順守し、良識ある公正な行動により、良き企業市民として地域社会から支持されることをめざしています。



行動規範の策定

職務執行の基準となる行動規範(各種の「業務規程」や「広島ガスグループ社員行動指針」等)を策定し、適正な業務遂行に役立てています。

継続的な教育

定期的にコンプライアンス教育および意識調査を実施することにより、広島ガスグループ役職員にコンプライアンス意識を根付かせ、法令違反等を許さない企業風土を醸成しています。さらに、イントラネットを利用した「内部統制掲示板」や「グループ広報誌(GASLAND)」を通じた情報の発信や「広島ガスグループ社員行動指針」、「コンプライアンスカード」の配布等、リスクマネジメント・コンプライアンス意識の維持・向上に努めています。

推進体制

当社およびグループ会社における業務の適正確保を目的として内部統制推進委員会を設置するとともに、総務部が各部門で実施しているリスクマネジメント・コンプライアンス施策の推進状況を管理しています。

また、社長および2名の社外弁護士で構成する企業倫理委員会を設置し、コンプライアンス施策の決定および制度の運用状況の把握と是正策について協議するとともに、当社グループの従業員が、直接、企業倫理委員会の委員等に相談・報告することができる「広島ガスグループ社員相談報告制度」を導入し、自浄機能の強化を図っています。

各種リスクへの対応

経営に重要な影響を与えるリスクについては、定期的にまたは必要に応じて、リスクの抽出・評価および対応策の策定を行い、経営会議において審議するとともに、取締役会に報告しています。

また、ガス供給の安定性・安全性を阻害するような地震等(台風、洪水、高潮、津波、火災、停電時等を含む)の大規模な自然災害によるリスクに対しては、予め規程化している「地震等防災対策要領」に基づき、災害発生時の緊急情報連絡体制・指揮命令体制等を整備しており、定期的な想定訓練を実施し、被害拡大の最小化を図っています。

グループ・ガバナンス

当社およびグループ会社の代表者で構成する広島ガスグループ代表者会議を設置し、重要な経営政策等の協議を行い、迅速な方針展開と情報の共有化を図っています。

グループ会社の業務執行については、執行の基準となる規程の整備等を通じてリスクを未然に防止するとともに、主要な連結対象会社の役員を親会社の役員が兼務することにより、各社の取締役会を通じて職務の執行状況を直接把握し監督しています。また、グループ会社の経営に関する重要な事項については、グループマネジメント委員会において事前審議を行い、その結果については経営会議に報告することとしています。

さらに、コンプライアンス活動の実効性を高めるため、グループコンプライアンス協議会を設置し、グループ会社におけるコンプライアンス体制の適切な整備・運用の推進を監督しています。

モニタリング体制

グループ内部監査を実施するため、社長直轄の組織である監査部を設置し、当社各部門およびグループ各社の業務実態などについて、監査スケジュールに基づいた監査を実施しています。また、業務遂行におけるセルフチェック機能の強化を図るため、CSA活動(自己統制評価活動)への継続的な取り組みを実施しており、部門ごとに「セルフチェックリスト」を作成・評価し、その評価結果をもとに監査部による往査を実施しています。

中期経営計画

2018年10月に公表した「広島ガスグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、2020～2022年度 広島ガスグループ中期経営計画では、エネルギー市場の自由化等の環境変化を好機と捉え、エネルギー基本計画を踏まえたグループ戦略を推進していきます。

広島ガスグループ2030年ビジョン

2020～2022年度 広島ガスグループ中期経営計画

基本方針

① 総合エネルギー事業の更なる普及拡大を通じた、省エネ・省CO₂への貢献とエネルギーサービス周辺事業の強化による事業拡大を図る。

- ガス販売量の拡大
- グループ・他事業者との連携・拡大
- マーケティング強化によりお客さまニーズを反映した料金・サービスの検討・実施
- 低廉・安定かつフレキシビリティのある原料調達継続と更なる推進
- 製造・供給ネットワークの整備・増強
- 原料調達等の上流活動の強化
- ガス小売全面自由化への対応
- グループ最適体制の検討
- エネルギー供給周辺サービスの強化・充実を図り、お客さまのロイヤルティの向上と生涯価値の確保を追求
- 中四国ガス事業者での連携強化
- 業務提携先との提携強化・販売体制の検討
- 行政・関係各所とも連携し、総合エネルギー事業の普及拡大を通じて、省エネ・省CO₂およびエネルギーセキュリティの向上に貢献
- シンガポール事務所を通じた海外事業展開の可能性について調査・推進

② 環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究を通じた、環境負荷低減に資する施策を推進する。

- 再生可能エネルギーの普及拡大
- 分散型エネルギーシステムの普及拡大
- ゼロエミッション実現に向けたエネルギーミックス
- 脱化石燃料の流れに対応した事業基盤の構築

③ デジタル技術の活用による高付加価値の創造を図ることによって、新たな価値創造と業務効率化を推進する。

- ICTを活用した生産性の向上
- デジタルワークスペースの整備による新しい働き方の実現
- スマートデバイスを活用した業務効率化の推進
- デジタル技術の活用による人材育成と技能伝承の充実強化
- スマートメーターの普及、EMS等の先進技術の導入による魅力ある街づくりへの貢献
- IoT、AI技術の導入によるお客さまサービスの充実

④ グループ組織力の強化につながる創造性豊かな人材の育成と活用により、グループ総合力の向上を図る。

- 多様で柔軟な働き方が実現できる環境の整備
- やりがいや働きがいを持つ、魅力ある職場作り
- 生産性向上に向けた意識改革の推進
- お客さまの期待を超えるサービスの提供に向けた創造性豊かな人材の育成
- 教育・キャリア形成支援の強化
- 付加価値の高いプロ集団に向けた人材育成
- グループ・部門を越えたコミュニケーション向上支援による一体感の醸成
- グループとして成果を最大化できるグループ機能整理・連携強化
- コンプライアンス(法令遵守、企業倫理)に則った公正で透明性のある事業活動の推進
- 人権啓発活動、コミュニケーション活動の強化
- グループ全体での要員管理と人材交流の推進による機動的な要員配置、リスク管理および連携強化

⑤ 安心安全の更なる追求により、エネルギーセキュリティの向上を図る。

- 保安レベルの向上(経年導管の取り替え促進、広域保安、保安周知等)
- 災害対策の強化(地域連携、防災投資等)
- 安定供給の強化(原料調達、インフラ整備)

⑥ 社会貢献活動の推進を通じ、地域社会と共に発展する企業グループをめざす。

- 地域に根差したエネルギー供給を担う企業として、地域の活性化・発展に資する活動の推進
- 環境基本理念および環境行動指針に則った環境保全活動の推進(環境負荷の低減、お客さま先での省エネ・省CO₂実現への貢献、地域・社会と連携した環境啓発活動等)
- 新たな活動の枠組みによる活動推進
- 社会貢献活動の検証

⑦ グループ経営基盤の強化を図り、強靱な企業グループの構築と持続的な発展をめざす。

- 収益力、資本効率の向上に資する事業ポートフォリオの見直しや経営資源の適切な配分
- グループ機能再構築の推進
- 収益向上につながる組織機能の強化と経営効率化の推進

⑧ 地域社会からの信頼につながる経営を推進する。

- 社内外への適時・適切な情報開示(IR活動の展開・強化等)
- 事業活動および財務報告の適法・適正性確保に向けた内部統制への継続的な取り組み
- グループ経営管理、コーポレート・ガバナンスへの継続的な取り組み

ガス需給計画

	実績	計画			
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	3年間平均伸び率
都市ガス(卸供給含む) [百万m ³]	596	595	614	630	1.8%
LPG [千t]	87	92	94	96	3.2%

※都市ガス(45MJ)

設備投資計画

	実績	計画			
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	3年間合計
広島ガスグループ [億円]	67	106	102	74	283

都市ガス事業

ガス販売量の普及拡大に向け安定供給体制を確保するため、中長期的な視点で製造設備および供給設備の増強・改修・入替等を計画的・効率的に行います。

LPG事業

コミュニティーガス団地における経年劣化した導管をPE管等の耐震性の高い導管への取替促進を実施していきます。

エネルギーセキュリティ向上への取り組み

安心安全の更なる追求により、エネルギーセキュリティの向上を図っていきます。

① 地域社会の皆さまが日頃から安心して生活頂ける環境整備

安定したエネルギー供給(原料調達・インフラ形成など)や防災対策および保安の高度化など、お客さまから「安心してご利用いただけるエネルギーやサービス」の提供を図ります。

② 提供するエネルギーサービスに対するの安心

お客さまが、広島ガスグループが提供するエネルギーやサービスに対して、不安を感じることなく安心してご利用いただくために、総合エネルギー事業の拡大をめざす中で、あらゆる「安心の備え」を図ります。

エネルギー市場自由化対応

ガス小売全面自由化に対する取り組みとして、お客さまの新たなニーズに対応し、選択し続けていただけるよう、料金・サービス等の営業施策を検討・実施していきます。

お客さま向けサービスとして、「Web会員サイト(MY HIROSHIMA GAS)」「広ガスポイントサービス」「広ガスくらしサービス」を2017年から開始しております。これらのサービスを通じて、これからも選択され続けるようお客さまのご期待に応え、信頼関係を強固なものにしていくことをめざしていきます。

新たなサービスの展開といたしましては、2019年4月から「エネファームtype S」余剰電力買取サービスを開始しました。同年7月からは機器購入ポイントサービスとして、ガスショップにて対象のガス機器をご購入されたお客さまに広ガスポイントを付与しております。

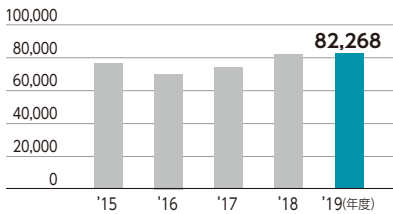
今後も、更なるサービス向上をめざし、新たなサービスメニューの充実について、引き続き検討し、地域の活性化に貢献していきます。

さらに、既存事業との相乗効果を図るべく、再生可能エネルギーなど、環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究を通じ、総合エネルギー企業としての発展をめざしていきます。

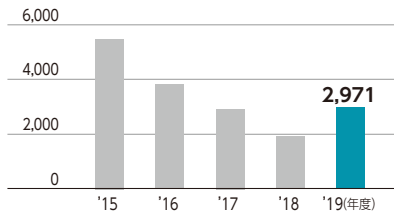
連結財務データ

① 主要数値

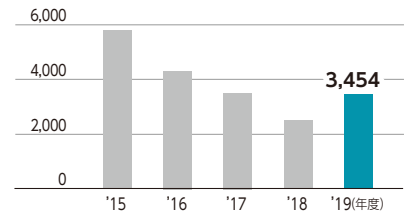
売上高 (百万円)



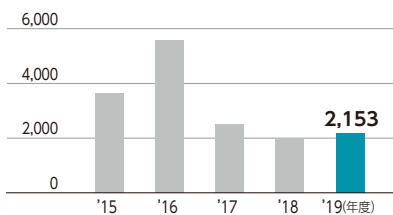
営業利益 (百万円)



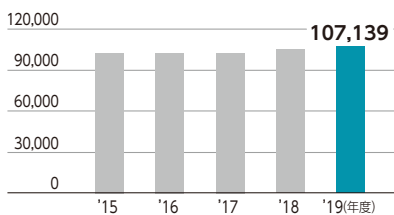
経常利益 (百万円)



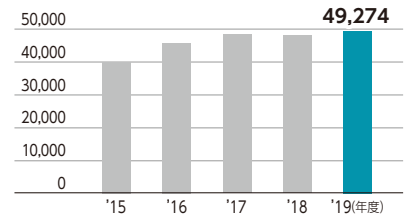
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



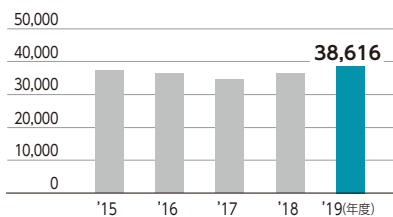
総資産 (百万円)



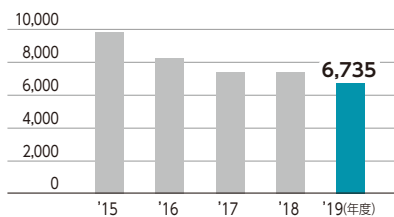
自己資本 (百万円)



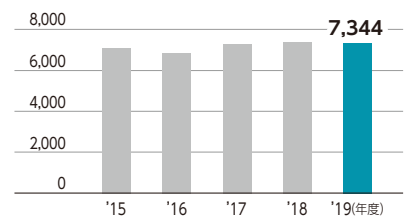
有利子負債 (百万円)



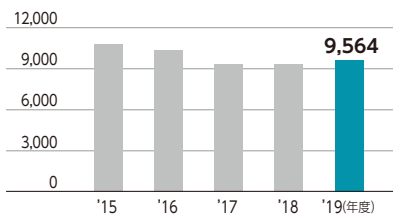
設備投資額 (百万円)



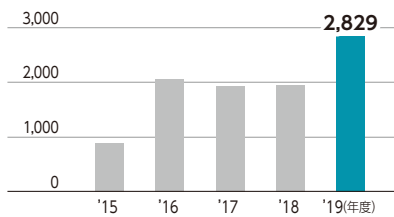
減価償却費 (百万円)



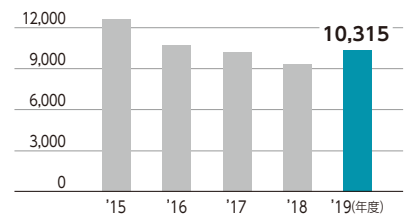
営業キャッシュフロー (百万円)



フリーキャッシュフロー (百万円)



EBITDA (百万円)



(百万円)

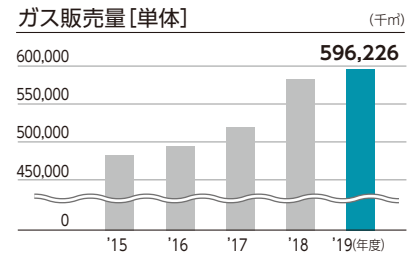
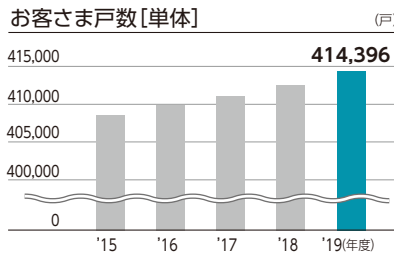
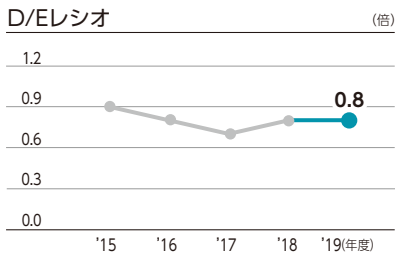
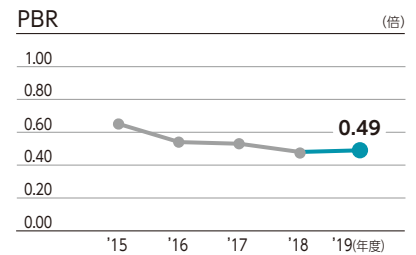
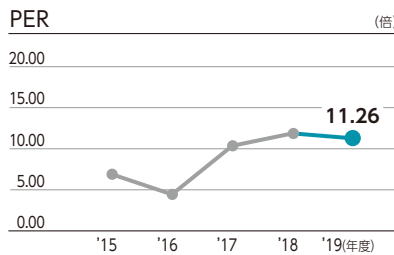
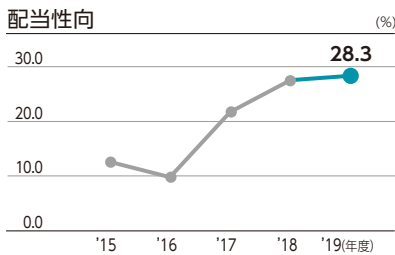
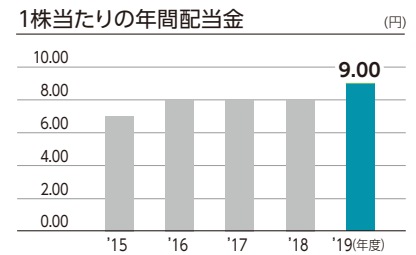
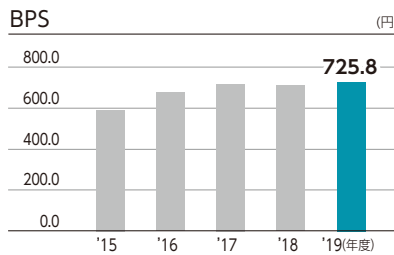
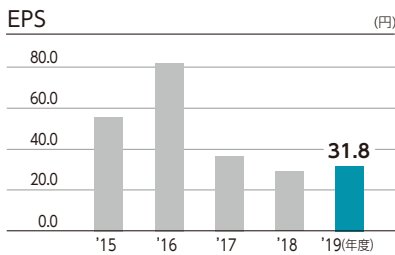
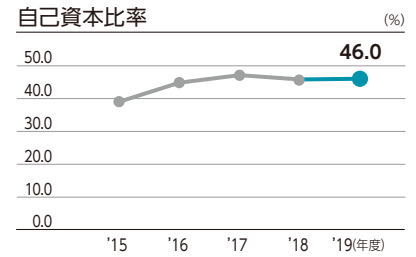
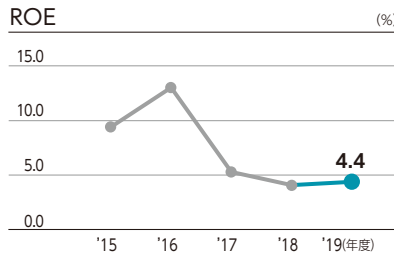
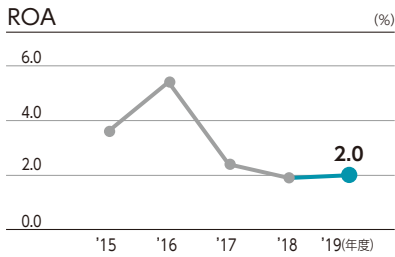
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	76,303	70,002	73,717	81,842	82,268
営業利益	5,475	3,812	2,920	1,926	2,971
経常利益	5,775	4,310	3,506	2,509	3,454
親会社株主に帰属する当期純利益	3,647	5,560	2,499	1,971	2,153
総資産	102,357	102,363	102,656	104,935	107,139
自己資本	39,961	45,825	48,332	48,019	49,274
有利子負債	37,350	36,310	34,455	36,293	38,616
設備投資額	9,851	8,267	7,401	7,377	6,735
減価償却費	7,091	6,858	7,269	7,349	7,344
営業キャッシュフロー	10,739	10,313	9,319	9,320	9,564
フリーキャッシュフロー	887	2,045	1,918	1,942	2,829
EBITDA	12,567	10,670	10,190	9,275	10,315

*営業キャッシュフロー = 親会社株主に帰属する当期純利益 + 減価償却費 (注)2016年度、2017年度、2019年度はキャッシュを伴わない特別損益を加減

*フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー - 設備投資額 *EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

*「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2018年度の期首から適用しており、2017年度の総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっている。

② 主要指標



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ROA (%)	3.6	5.4	2.4	1.9	2.0
ROE (%)	9.4	13.0	5.3	4.1	4.4
自己資本比率 (%)	39.0	44.8	47.1	45.8	46.0
EPS (円)	55.7	82.0	36.8	29.1	31.8
BPS (円)	590.1	675.2	715.2	709.0	725.8
1株当たりの年間配当金 (円)	7.00	8.00	8.00	8.00	9.00
配当性向 (%)	12.6	9.8	21.7	27.5	28.3
PER (倍)	6.89	4.44	10.35	11.86	11.26
PBR (倍)	0.65	0.54	0.53	0.49	0.49
D/Eレシオ (倍)	0.9	0.8	0.7	0.8	0.8
お客さま戸数 [単体] (戸)	408,490	409,881	411,080	412,574	414,396
ガス販売量 [単体] (千m)	483,021	494,646	519,137	583,010	596,226

*ROA (総資産利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 平均総資産 × 100

*ROE (自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 平均自己資本 × 100 *自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産 × 100

*EPS (1株あたり当期純利益) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均株式数 *BPS (1株あたり純資産) = 純資産 ÷ 期末発行済株式数

*PER (株価収益率) = 期末株価 ÷ EPS *PBR (株価純資産倍率) = 期末株価 ÷ BPS *D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本

連結財務データ

③連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
[資産の部]		
固定資産	78,907	77,413
有形固定資産	63,012	62,404
製造設備	15,680	15,238
供給設備	31,994	31,408
業務設備	4,130	3,925
その他の設備	7,913	7,918
建設仮勘定	3,294	3,913
無形固定資産	988	773
投資その他の資産	14,906	14,235
投資有価証券	7,835	7,424
長期貸付金	4	3
繰延税金資産	1,951	1,952
その他投資	5,258	4,920
貸倒引当金	△ 143	△ 64
流動資産	26,028	29,726
現金及び預金	10,436	14,158
受取手形及び売掛金	8,029	6,906
商品及び製品	863	782
原材料及び貯蔵品	4,419	5,463
その他流動資産	2,304	2,439
貸倒引当金	△ 25	△ 24
資産合計	104,935	107,139

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
[負債の部]		
固定負債	38,546	33,108
社債	23,000	18,000
長期借入金	11,458	11,291
役員退職慰労引当金	337	307
ガスホルダー修繕引当金	365	345
保安対策引当金	600	640
器具保証引当金	280	290
退職給付に係る負債	2,082	1,848
資産除去債務	114	117
その他固定負債	307	265
流動負債	15,676	21,894
1年以内に期限到来の固定負債	1,623	6,152
支払手形及び買掛金	7,806	5,511
未払法人税等	330	674
コマーシャル・ペーパー	—	3,000
その他流動負債	5,916	6,555
負債合計	54,223	55,003
[純資産の部]		
株主資本	47,756	49,394
資本金	5,181	5,181
資本剰余金	1,149	1,149
利益剰余金	41,529	43,104
自己株式	△ 104	△ 41
その他の包括利益累計額	263	△ 119
その他有価証券評価差額金	1,700	1,392
繰延ヘッジ損益	△ 784	△ 704
退職給付に係る調整累計額	△ 651	△ 807
非支配株主持分	2,693	2,862
純資産合計	50,712	52,136
負債純資産合計	104,935	107,139

④ 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	当連結会計年度 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)
売上高	81,842	82,268
売上原価	54,573	54,257
売上総利益	27,269	28,010
供給販売費及び一般管理費	25,342	25,039
供給販売費	19,965	19,718
一般管理費	5,376	5,321
営業利益	1,926	2,971
営業外収益	864	709
受取利息	3	2
受取配当金	186	161
持分法による投資利益	68	68
CNG販売収益	154	142
雑収入	451	333
営業外費用	281	225
支払利息	191	171
社債発行費償却	45	-
雑支出	43	53
経常利益	2,509	3,454
特別利益	484	-
投資有価証券売却益	484	-
特別損失	-	66
投資有価証券評価損	-	66
税金等調整前当期純利益	2,994	3,388
法人税、住民税及び事業税	697	929
法人税等調整額	198	120
当期純利益	2,098	2,338
非支配株主に帰属する当期純利益	127	185
親会社株主に帰属する当期純利益	1,971	2,153

⑤ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	当連結会計年度 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)
当期純利益	2,098	2,338
その他の包括利益	△ 1,806	△ 382
その他有価証券評価差額金	△ 1,083	△ 306
繰延ヘッジ損益	△ 788	80
退職給付に係る調整額	65	△ 156
包括利益	292	1,955
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	165	1,770
非支配株主に係る包括利益	127	185

⑥ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	当連結会計年度 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,994	3,388
減価償却費	7,349	7,344
その他	△ 5,446	△ 2,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,897	8,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 6,901	△ 6,589
その他	435	△ 132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,466	△ 6,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,231	1,786
現金及び現金同等物の期首残高	8,806	8,449
現金及び現金同等物の期末残高	8,449	12,091

環境分野

低炭素社会の構築をめざし
クリーンエネルギー天然ガスの高度利用を基軸として
環境保全を推進していきます。

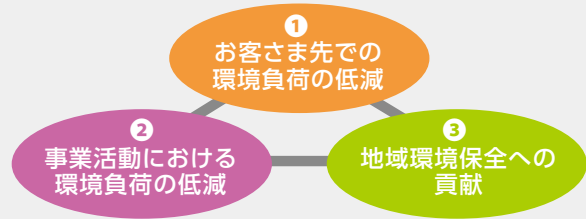
環境保全活動の基本的な考え方

1993年度に環境基本理念および環境行動指針を制定し、環境保全活動を推進しています。環境保全活動は、関係会社を含めた企業グループ全体で取り組むことにより、一層大きな改善効果が期待できることから、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。

■ 広島ガスグループ環境基本理念

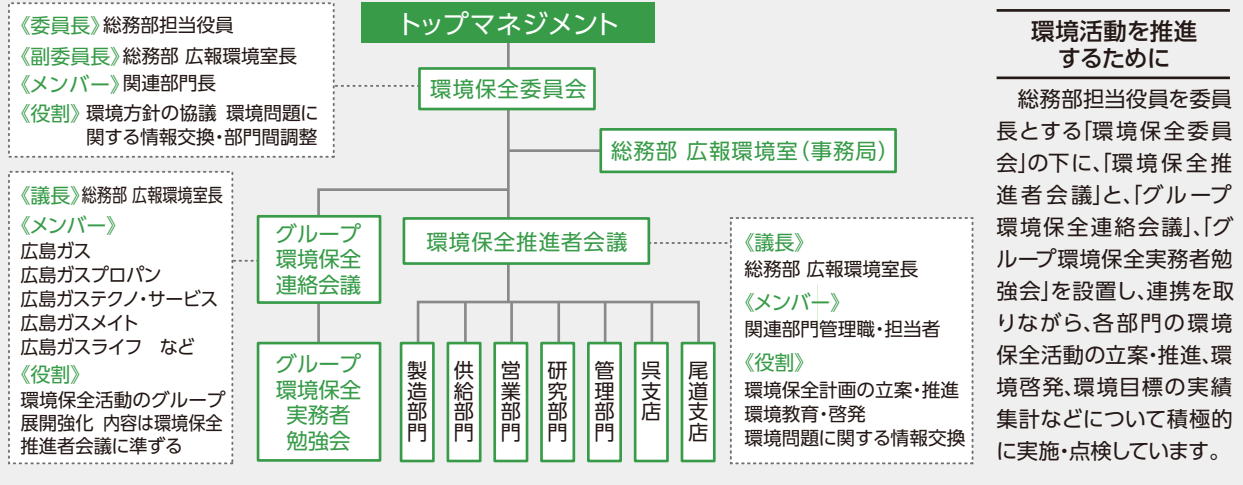
広島ガスグループは、
事業活動を通じてエネルギーと資源の効率的利用を
追求するとともに、地域・地球環境保全を推進し、
社会の持続可能な発展に貢献する。

■ 広島ガスグループ環境行動指針



環境行動指針を支える環境マネジメント

■ 環境活動推進体制 (2020年4月1日現在)



都市ガス(広島ガス)の組成

LNGを主原料に都市ガスを製造し、ガス導管を通じてお客さまにお届けしています。毒性のないメタン中心のガスで、無色無臭のため工場で付臭しています。

【都市ガスの性状】

成分およびその含有量(天然ガス供給区域)

成分			組成	ガス種	13A
名称	化学式	体積%			
メタン	CH ₄	91	標準熱量 45MJ/m ³ (10,750kcal/m ³)	比重 (空気=1) 0.639 (空気より軽い)	CO ₂ 排出 係数 2.29kg-CO ₂ /m ³ (石炭の60%)
エタン	C ₂ H ₆	5			
プロパン	C ₃ H ₈	2			
ブタン	C ₄ H ₁₀	2			

(注) ガス組成は代表値を示す。

※1

LCA※1による化石燃料の温室効果ガス排出量の比較

この表は、化石燃料が採掘から燃焼までの各区分で排出する温室効果ガス排出量(CO₂換算値)を比較しており、LNG(液化天然ガス)やLPG(液化石油ガス)が、他の化石燃料と比べ、LCA評価においても優位性があることを示しています。

区分	石炭	石油	LPG	LNG
生産	4.58	4.06	4.94	9.17
輸送	1.71	0.79	1.80	1.97
設備	0.11	0.08	0.11	0.04
燃焼	88.53	68.33	59.85	49.40
合計	94.93	73.26	66.70	60.58
指数※2	100	77	70	64

※1 LCA:ライフサイクルアセスメント
原材料の採取から製造、使用および廃棄に至るすべての過程を通じて、製品が環境に与える影響の大きさを定量的に整理、評価する手法。表の数値は、温室効果ガス排出量をCO₂換算し、総発熱量ベースで算出。

※2 指数は、石炭を100とした場合の温室効果ガス排出量比。

*資料: エネルギー・資源学会「LNGおよび都市ガス 13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の未来予測」,
「エネルギー・資源」Vol.28 No.2(2007)

環境啓発活動

毎年、環境月間である6月に、広島ガスグループ役職員を対象に、環境意識の啓蒙のため、外部講師を招いて、広島ガスグループ環境講演会を実施しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となりました。



広島ガスグループ環境講演会

環境保全・生物多様性への考え方

広島ガスグループは、環境特性に優れた天然ガスを中心とするエネルギー供給事業者として、環境保全・生物多様性に配慮した事業展開を幅広く認識し、環境保全活動に真摯に取り組むことで、社会の持続可能な発展に貢献していきます。



パラスト水確認作業



エヒメアヤメ生息地下草刈り(三原市)

温暖化対策・温室効果ガス削減に向けた動き、低炭素社会への貢献

世界

2016年11月 パリ協定発効

【目標】世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2℃未満に抑える(先進国・開発国を含む国・地域が参加)

日本

【中期目標】2030年度において2013年度比で26%の温室効果ガスを削減

部門別削減目標目安		ガス業界・広島ガス	
部門	政府目標目安	ガス業界・広島ガスで貢献できること	参照ページ
家庭部門	40%減	・天然ガスの普及拡大 ・家庭用燃料電池「エネファーム」など高効率機器の普及拡大	→P.23 →P.24
業務その他部門	40%減	・天然ガスの普及拡大 ・業務用高効率機器の普及拡大 ・エコオフィスの推進	→P.23 →P.24 →P.26
産業部門	7%減	・燃料転換による天然ガスの普及拡大 ・業務用高効率機器の普及拡大	→P.23
エネルギー 転換部門	28%減	・工場でのエネルギー使用の効率化 ・業務施設などにおける再生可能エネルギー設備の導入	→P.25 →P.26

環境省「地球温暖化対策計画」から エネルギー起源CO₂数値

SDGsに関連する広島ガスの取り組みについて、ページ右上に該当するSDGsのアイコンを記載しています。

◎持続可能な開発目標
[SDGs(Sustainable Development Goals)] 17の目標



1 お客さま先での環境負荷の低減

広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努めます。

天然ガスの環境性

天然ガスはクリーンなエネルギーです。化石燃料の燃焼生成物など発生量比較(石炭を100とした場合)



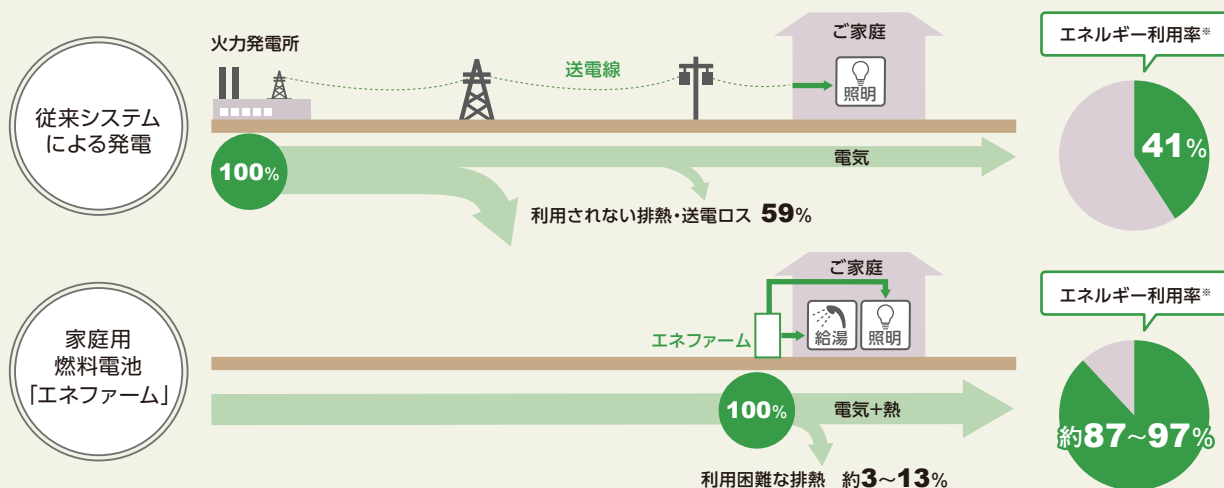
天然ガスは、石油や石炭に比べ、燃焼時に排出されるCO₂や有害物質の量が少いため、化石燃料の中でもクリーンなエネルギーといわれています。
出典:「エネルギー白書2013」資源エネルギー庁

エネルギー利用効率の高いガスコージェネレーションシステム

ガスコージェネレーションシステムは、天然ガスを使用して発電するとともに、同時に発生する熱を給湯や冷暖房で利用することで、エネルギーを効率的に利用できるシステムです。

エネルギー利用効率の比較

発電所で発生する熱は、そのほとんどが捨てられてしまいます。また、遠く離れた家庭に電気が運ばれてくるまでに、送電ロスなどが発生します。ガスコージェネレーションシステムである家庭用燃料電池「エネファーム」であれば、使う場所がエネルギーをつくる場所となります。そのためロスが少なく、排熱も有効活用できます。約8割~9割のエネルギー利用率が期待でき、省エネ・環境性に優れています。



出典: (一社)日本ガス協会

燃料転換の取り組み(工業用)

広島ガスでは、天然ガス販売量の約5割は工業用のお客さまが占めています。広島ガスが供給する天然ガスは半導体工場・自動車工場・製鉄所などさまざまな業種の生産工程において利用されています。

溶解炉、熱処理炉などの工業炉やボイラの燃料を重油などの油燃料から天然ガスへと燃料転換することで、お客さま先におけるCO₂排出量の抑制に貢献しています。油燃料から天然ガスへの燃料転換によりCO₂排出量は約25%の削減が可能となります。



ガス工業炉

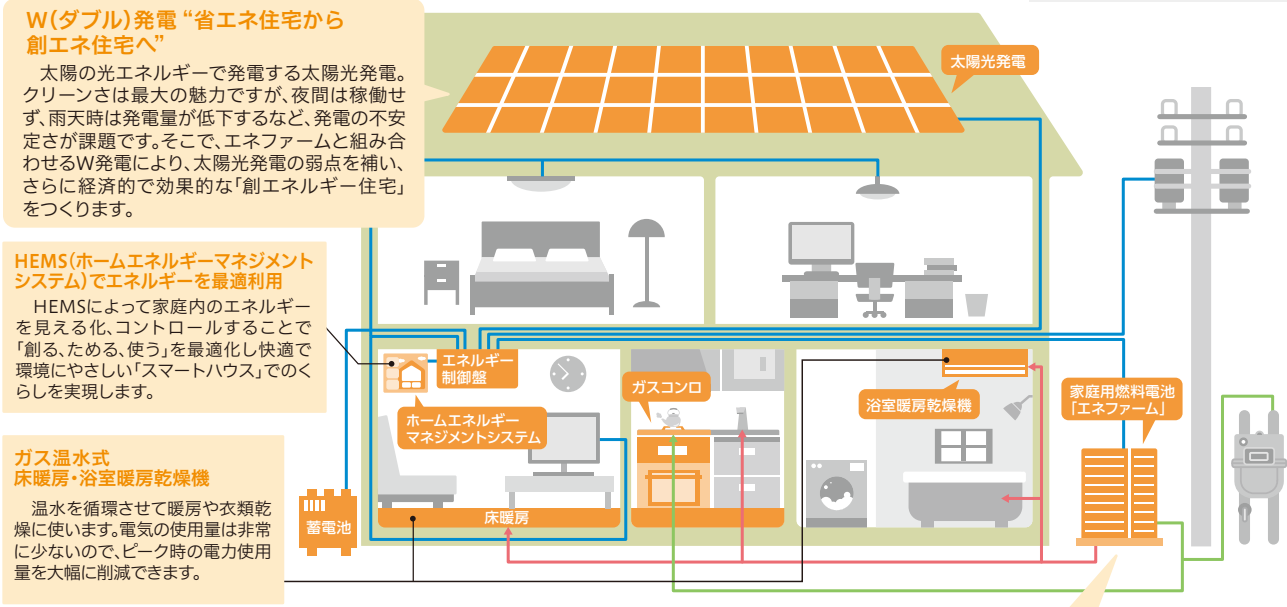
天然ガス高効率利用の促進 (家庭用)

天然ガスの普及拡大を図りつつ、エネルギーの高度利用を推進すること、具体的には太陽光などの再生可能エネルギーの出力変動を天然ガスで補完することなど、さらなる省エネ・省CO₂、ZEH* (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) の普及拡大に貢献するとともに、便利で快適な暮らしをご提案します。

*ZEH…年間の一次消費エネルギー量の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅

家庭用高効率機器の普及【環境にやさしい未来型住宅(スマートエネルギーハウス)の提案】

— ガス — 電力 — 温水



高効率給湯器「エコジョーズ」 (累計販売台数55,341台) (2020年3月31日現在)
従来利用されていなかった排熱をコンデンシング技術を使って再利用し、熱効率を80%から95%まで引き上げた高効率給湯器です。

家庭用燃料電池「エネファーム」 (累計販売台数2,611台) (2020年3月31日現在)
「エネファーム」は、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t~2.3t抑えるエネルギー効率が高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

高効率給湯器「エコジョーズ」
P社製(固体高分子形) A社製(固体酸化物形)

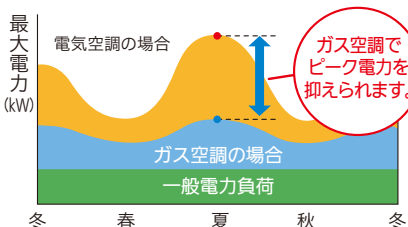
天然ガス高効率利用の促進 (商業用)

業務用高効率設備・機器の普及

◎ガスヒートポンプ(GHP)・ガス吸収冷温水機(ナチュラルチラー)の普及促進

ガスヒートポンプ・ガス吸収冷温水機は、ガスで空調するシステムで、夏期・冬期における電力のピークカットに大きな効果を発揮します。

【GHPによる消費電力の平準化(イメージ)】



◎天然ガス自動車

天然ガス自動車(NGV)は、ガソリンや軽油の代わりにクリーンな天然ガスを燃料に走行する自動車です。その排出ガスには、発ガン性が指摘される黒煙(粒子状物質)や酸性雨の原因となる硫酸化合物が含まれません。地球温暖化の原因となるCO₂もガソリン車に比べて低く抑えられます。



環境技術開発(広島ガス技術研究所)

省エネ機器・システム開発

未利用エネルギーであるガスの圧力差を利用した発電システムを開発しました。これは都市ガスを減圧する際の膨張エネルギーで発電し、特徴は燃料が不要、CO₂を排出せずに発電し、簡単な構造で中小ガス事業者や大口のお客さまへ導入しやすいシステムです。現在、共同開発者である(株)オンセックより販売しています。



② 事業活動における環境負荷の低減

広島ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減するとともに、環境マネジメントの強化を図り、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物などの発生抑制、再使用、再資源化)を積極的に推進します。

ガス導管工事における排出物削減と再資源化

新工法の採用、再資源化の推進などによりアスファルト・コンクリート・土砂などの排出量の削減に努めています。

ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化



- ◎非開削工法による掘削土の削減
道路を掘らずにガス導管を埋設する工法
- ◎浅層埋設による掘削土の削減
道路に埋設するガス導管の深さを従来より浅く埋設する工法
- ◎掘削幅縮小による掘削土の削減
道路掘削幅を従来より縮小する工法
- ◎掘削土の直接埋め戻しまたは再資源化処理し再利用
ガス導管工事で排出された土砂のうち、良質のものまたは再資源化したものを埋め戻しに使用

これらの取り組みにより、山砂などの採掘量を減らし、生態系への影響を低減しています。

【アスコン塊のリサイクル】

アスコン塊は2019年度にグループ全体で約2万9千t発生し、ほぼ全量を再生アスファルト合材として、資源リサイクルしています。

【ガスメーターのリユース】

使用済ガスメーターの分解・整備・検査によるリユースに努め、2019年度は、約4.3万個(約97%)をリユースしました。

ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化

ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン(PE)管を1989年から採用しています。また、不要になったPE管は100%再資源化しています。



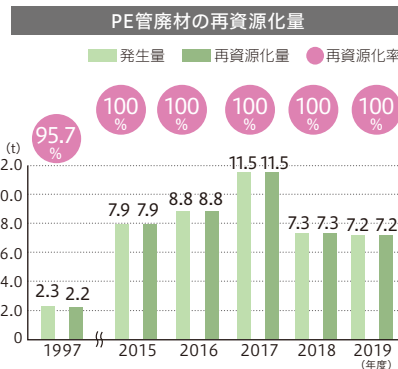
ポリエチレン管の可とう性



ポリエチレン管



ポリエチレン管リサイクル品(病院向けボックス)



廿日市工場コージェネレーション設備と高効率化改造

2004年、廿日市工場にガスコージェネレーションシステムを導入し、排熱の活用により、CO₂排出量の抑制に寄与しています。また、余剰電力は小売電気事業者などへ卸売供給しています。



ガスコージェネレーションシステム(廿日市工場)

廿日市工場ガスコージェネレーションシステム概要

- 発電容量/11,000kW ・高効率天然ガスエンジン5,500kW×2基
- 送電容量/最大10,000kW ・特別高圧22kV

2018年3月末から2018年7月末にかけてガスエンジン高効率化改造工事を行いました。

本工事は、今後の長期使用を見据えて、ガスエンジンのGSI(ガス・スパーク・イグニッション)化への改造とともに、発電機のオーバーホール、関連ポンプの更新を行い、設備全体の信頼性の向上と合わせて、高効率化と長寿命化を図る目的で実施しました。



コージェネレーション改造工事

GSI化により、発電効率の改善、着火補助燃料設備の不要化、メンテナンス費用削減など大きなメリットを享受できるものと考えています。

本取り組みは、「コージェネ大賞2019」の産業用部門最高位である「理事長賞」を受賞しました。



コージェネ大賞表彰式

廿日市工場と廃棄物処理施設との熱融通事業

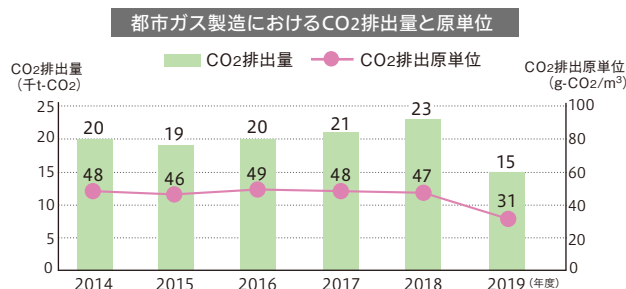
2019年4月から、廿日市工場の西側隣地に新たに建設された廿日市市廃棄物処理施設(はつかいちエネルギーグリーンセンター)から廿日市工場への熱供給を開始しました。隣地からの未利用熱を供給してもらうことで、LNG気化器の熱源発生設備である温水ボイラの稼働を減らすことができ、省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)における成績向上につながります。近隣事業所同士で熱を融通することによって、地域での環境負荷低減に貢献しています。



廿日市工場熱交換器

都市ガス製造におけるCO₂排出量と原単位

廃棄物処理施設との熱融通事業により、製造所からのCO₂排出量は大きく減少しました。



再生可能エネルギーの活用

2017年10月に設立した「海田バイオマスパワー(株)」が建設中の海田発電所(バイオマス混焼発電所)は、2021年3月の営業運転開始を予定しています。本事業では、広島県内の林地残材などの未利用木材のほか、海外の木質系バイオマスを使用します。

海田発電所の運転を通じて、再生可能エネルギーの普及拡大や、低炭素社会の実現に寄与してまいります。

また、2013年10月から、呉市の旧阿賀工場跡地にて、大規模太陽光発電所(733kW)の運転を開始しています。

さらに、本社ビル・支店・ショールーム・グループ会社でも太陽光発電設備を設置して、環境保全活動に努めています。

バイオマス混焼発電所 完成予想イメージ図



建設中の海田発電所



受入コンベアと燃料バンカ



大規模太陽光発電所(呉市阿賀)



事業所太陽光発電(広島ガスプロパン)(広島市安佐南区緑井)

事業所における省エネと資源の有効活用

エコオフィス活動の推進

事務所におけるCO2排出削減、廃棄物排出の削減などを推進しています。全国的な節電の必要性などをふまえ、オフィスに加え家庭での省エネ行動例を社内周知しています。

エコ オフィ ス活 動目 録	① エネルギー消費の低減 [節電、空調管理、節水、公共交通機関の利用促進、クールビズ(5月~10月)の実践、省エネ機器(LED照明など)への更新など]
	② 資源消費の低減 [紙の使用削減と再資源化、タブレット端末、電子黒板の導入など]
	③ 廃棄物の発生抑制と適正処理 [ごみの分別強化、リサイクル推進など]
	④ 自動車管理、低公害車の導入 [使用頻度の少ない車の契約解除対応]
	⑤ 自転車の活用による環境保全 [近隣・市内中心部へ移動の際、自転車を活用]
	⑥ 全社掲示板による環境保全啓蒙活動

環境に関する法令順守

2019年度は、環境に関する法令違反や罰則の適用はありませんでした。

省エネ法への対応

省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)ならびに温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)に基づき、エネルギー管理統括者などの選任、ならびに全事業所を対象とした定期報告書および中長期計画書などを監督官庁である中国経済産業局に提出しました。

今後も、法令に基づきエネルギーの有効活用に努めていきます。

自動車環境管理

広島県条例「広島県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、自動車使用合理化実施状況報告書、広島市条例「広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、自動車環境報告書などを行政に提出しました。

今後も、条例に基づき適正な車両管理・低公害車の導入に努めていきます。

土壌調査とその対応

天然ガス転換完了を機に、石炭を主原料としていた旧海田工場ならびに旧阿賀工場の製造設備跡地の土壌調査を自主的に行った結果、ヒ素、シアンなどによる汚染が判明しましたので、2003年12月に公表するとともに近隣の皆さまへの説明を行いました。調査の結果からも周辺の生活環境への影響はないものと考えていますが、将来にわたる周辺への影響を防止するため対策工事を実施し、2004年度に完了しました。その後も両用地とも地下水モニタリングを実施しており、海田工場跡地(現:海田基地)については、揚水井戸、水処理装置を使用して、揚水による浄化を継続しています。

産業廃棄物処理場の実地確認

産業廃棄物処理法(「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」)、広島県条例に基づき、広島ガスグループから産業廃棄物として排出される処理場の実地確認を行っています。



産業廃棄物処理場

化学物質の管理

[PCB(ポリ塩化ビフェニール)の管理]

トランス、コンデンサーなどに使用されていたPCBは保管場所に集積・管理し、2014年5月に高濃度PCB、2015年9月に低濃度PCBの無害化処理を実施しました。

[水銀含有機器の処分]

2013年水俣条約が採択、2015年「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が制定・公布され、2017年度に広島ガス、2018年度に広島ガスグループの水銀含有機器の調査・回収・処分を完了しました。

[PRTR法*への対応]

化学物質の取り扱い量は、天然ガス転換により激減し、2019年度は、規定量の届出物質はありませんでした。

*PRTR法: 特定の化学物質を規定量以上取り扱った際に排出・移動量を届け出ることを選定した法律

[アスベスト使用状況調査とその対応]

広島ガスおよびグループ会社3社は、アスベストに関する健康被害状況と自社所有建物および設備などにおける使用状況を調査しました。その結果、健康被害はありませんでしたが、一部使用が確認され、除去作業を2005年に完了し、調査結果を同年公表しました。

3 地域環境保全への貢献

広島ガスグループが事業活動を営む地域の環境保全活動に積極的に取り組みます。

地域清掃活動

毎月一回、各事業所周辺の美化活動を実施するとともに、ひろしま男子駅伝、クリーン太田川河川一斉清掃など行政主催の清掃イベントにも参加しています。



事業所周辺清掃

環境学習・環境啓発活動

行政・学校・地元企業と連携し、環境保全・教育活動を推進するとともに、ショールームなどでの環境セミナー、調理実習、施設見学説明会など、体験型学習を行っています。



環境講演・セミナー

年月	名称	内容
年間を通じて	環境学習(エコ・クッキング*教室など)	社会分野(P.33)を参照ください
	出張環境講演・セミナー	地元企業などでの環境講演セミナー

※「エコ・クッキング」は、東京ガス㈱の登録商標です

各種環境イベントなどへの出展

CSR活動や、天然ガスの環境性や省エネ型ガス機器の紹介などを実施しています。



ひがしひろしま環境フェア2019

年月	名称
2019.6	ひがしひろしま環境フェア2019
	「環境の日」ひろしま大会(広島県環境フェア)
2019.7	2019ひろしま温暖化ストップフェア(広島市環境フェア)
2019.9	くれエコフェスタ2019
	海田町環境フェア
2019.10	はつかいち環境フェスタ2019
2020.2	府中町緑の仲間フェスタ

地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県の行政・団体・企業により構成されている各種の環境保全推進組織に委員などとして参画し、環境啓発・教育・イベントなどを支援しています。

団体・事業	事務局
ひろしま地球環境フォーラム	広島県
広島県地球温暖化防止活動推進センター	広島県環境保健協会
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市
ひろしまエコパートナー	広島市

団体・事業	事務局
くれ環境市民の会	呉市
エコネットひがしひろしま	東広島市
中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議	中国経済産業局

広島県の森林保全参画による地域環境貢献

●「このまち思い 広島ガスの森」開設

2019年、広島ガス創立110周年を機に、地域環境貢献の一環として、広島県緑化センター内の8.13haの森林地区を「このまち思い 広島ガスの森」と命名して、森林保全活動をはじめました。地域のエネルギー事業者として、CO₂削減への貢献のみならず、多くの方に喜んでいただける、笑顔あふれる場になるよう、イベント開催や、整備などを実施していきます。



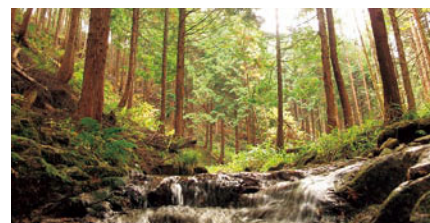
このまち思い 広島ガスの森



除伐による森林保全活動

●J-クレジット

広島ガス創立110周年を記念し、2019年度から広島県が保有する森林のJ-クレジットを購入する活動を開始しました(6t/年)。広島県の森林保全に参画することによって、CO₂削減に貢献しています。今後は、積極的にカーボン・オフセットを実施していきます。



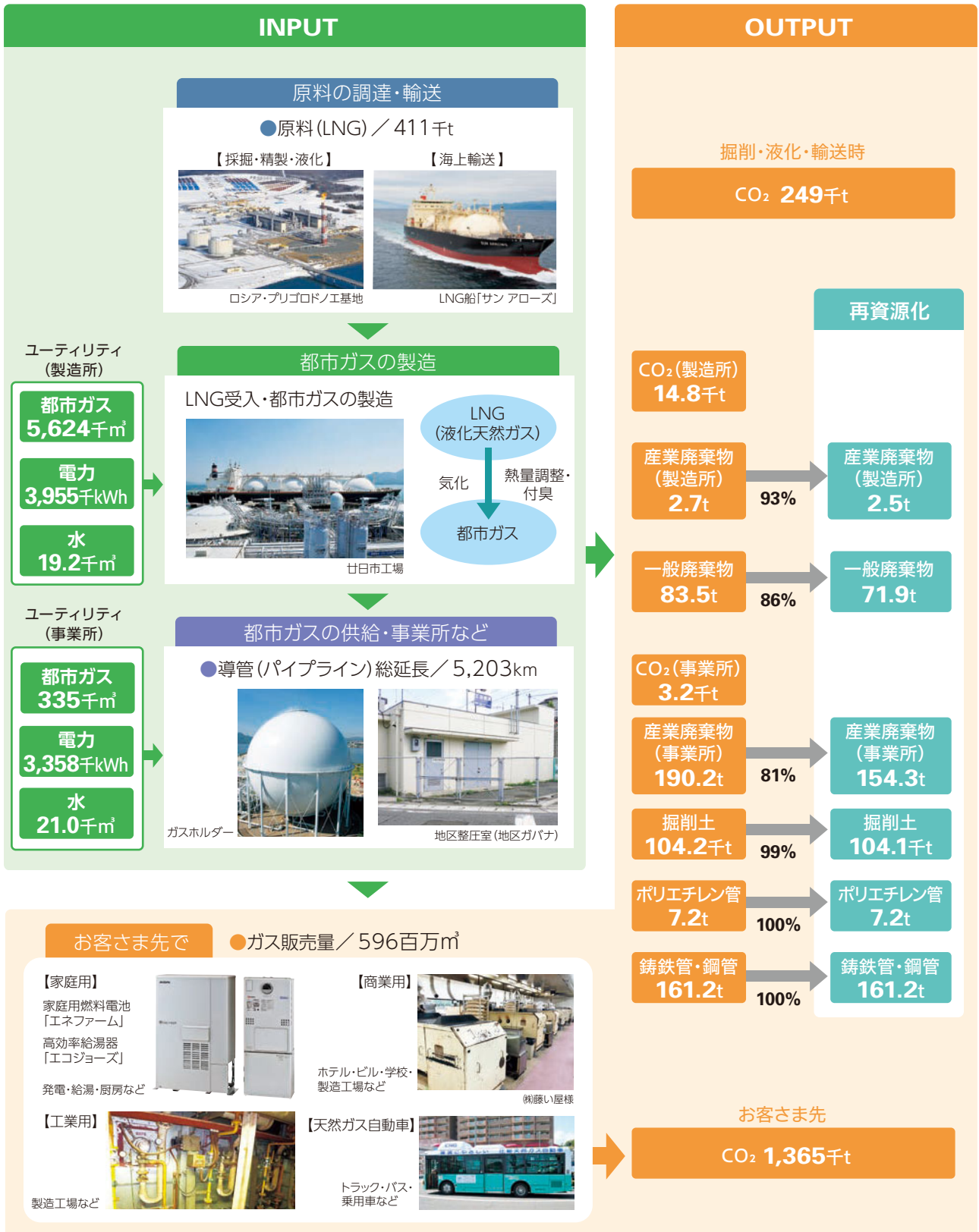
広島県J-クレジット森林

環境負荷低減フロー (2019年度実績)

環境保全活動における
お取引先との関係

廿日市工場・備後工場・東広島製造所においては、LNG船、LNGローリーなどの役務提供者および購買先に対して、環境保全活動(サプライチェーン・マネジメントなど)への協力を依頼しています。

- 環境保全に関する覚書
- 安全環境教育



経営分野

環境分野

社会分野

環境目標および実績

環境保全活動を効果的に推進するため、環境目標を設定し、活動を進めています。

2016年度～2020年度 環境目標

*行政など目標値

■ 目標 ■ 実績

環境行動指針	環境目標	2019年度 目標・実績	2020年度 目標
① お客さま先での 環境負荷の低減	① お客さま先でのCO ₂ 排出量を年間1万t以上削減する。	<p>2019年度 1.1 (目標), 0.6 (実績) 未達 2020年度 1.1以上 (目標)</p> <p>※2019年度の大口など新規獲得ガス販売減小のため</p>	1.1以上
	② ガス製造工場の過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。	<p>2019年度 -1 (目標), -5.9 (実績) 達成 2020年度 1以上減 (目標)</p>	1以上減
	③ オフィスの過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。	<p>2019年度 -1 (目標), -1.0 (実績) 達成 2020年度 1以上減 (目標)</p>	1以上減
	④ 低公害車の割合を2020年度までに70%とする。	<p>2019年度 66 (目標), 80 (実績) 達成 2020年度 70以上 (目標)</p>	70以上
	⑤ 広島ガス事業活動(都市ガス製造時)におけるCO ₂ 排出原単位を、55g-CO ₂ /m ³ (販売ガス量)以下を維持する。	<p>2019年度 55 (目標), 31 (実績) 達成 2020年度 55以下 (目標)</p>	55以下
	⑥ 産業廃棄物最終処分量(製造部門)を、2020年度まで1t以下を維持する。	<p>2019年度 1 (目標), 0.2 (実績) 達成 2020年度 1以下 (目標)</p>	1以下
	⑦ ガス導管工事から発生する掘削土量を、従来工法に比べ35%以上削減を維持する。	<p>2019年度 35 (目標), 46 (実績) 達成 2020年度 35以上 (目標)</p>	35以上
	⑧ ガス導管工事から発生する掘削土量の再資源化率85%以上を維持する。	<p>2019年度 85 (目標), 99 (実績) 達成 2020年度 85以上 (目標)</p>	85以上
② 事業活動における 環境負荷の低減	① CSR・環境分野でのお客さま・地域の方との接点を年間15,000人以上とする。	<p>2019年度 13,000 (目標), 19,100 (実績) 達成 2020年度 13,000以上 (目標)</p> <p>【環境】 2,000 (目標), 3,000 (実績) 達成</p>	13,000以上

環境会計

事業活動における環境保全のためのコストとその活動による効果を定量的に把握するのが環境会計です。環境に関わるコストと効果を、環境省の「環境会計システムの確立に向けて〈2000年報告〉」をベースにした(一社)日本ガス協会の「都市ガス事業における環境会計導入の手引き」(2002年10月改定)に基づき集計しました。

2019年度の集計実績

環境保全コスト

(単位：百万円)

環境保全コスト項目		投資額		費用額	
		2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
主な内容(例)					
自 社 業 務	公害防止	13	24	17	21
	地球環境保全	158	266	35	109
	資源循環	0	0	29	21
	環境マネジメント	0	0	17	18
	その他	0	0	13	31
お客さま先	環境R&D*	12	4	26	26
社会貢献活動	自主緑化、景観保持、自然保護、美化地域の環境活動支援、環境広告、環境情報公表など	0	0	23	23
合 計		183	294	160	249

*環境R&Dとは、研究開発コストのうち環境保全のためのものをいいます。

●地球環境保全の投資額・費用額については、廿日市工場熱融通事業設備設置などにより増加しました。

2019年度の効果

【環境負荷水準】

環境負荷水準	2018年度	2019年度
NOx原単位(製造) (mg/m ³)	33	35
CO ₂ 原単位(製造) (g-CO ₂ /m ³)	47	31
CO ₂ 原単位(オフィス) (g-CO ₂ /m ³)	6	5
掘削発生土外部排出量 (千t)	1	1
産業廃棄物発生量(最終処分量)(t)	41	36
一般廃棄物発生量(最終処分量)(t)	18	12

【企業内経済効果】

(単位：百万円)

経済効果	2018年度	2019年度
掘削発生土外部排出量削減に伴う経費削減額	286	281
燃料ガス使用量削減による経費削減額	127	121
ガスコージェネレーション発電に伴う売電収入	347	370
太陽光発電に伴う売電収入	35	34
その他	1	1
合 計	796	807

【全社設備投資額における環境設備投資額比率】

	2018年度	2019年度
全社設備投資額(百万円)	6,946	6,735
環境設備投資額比率(%)	2.6	4.4

【全社総売上高における環境費用額比率】

	2018年度	2019年度
全社総売上高(百万円)	62,362	63,358
環境費用額比率(%)	0.3	0.4

- 経済効果については、工場の熱融通による燃料使用量削減や、自家発電、ガス導管工事における掘削発生土の削減、太陽光発電に伴う売電収入などにより、807百万円の効果となりました。
- 太陽光発電に伴う売電収入は、年間34百万円となりました(発電量858千kWh)。

社会分野

地域の皆さまとともに、
持続可能な社会の実現に向けた取り組みを
推進していきます。

地域社会との関わり(芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)

広島ガスは、地域に深く根差した企業であり、さまざまな社会貢献活動を実施しています。活動にあたっては、「芸術・文化振興」、「地域振興」、「スポーツ振興」、「教育支援(次世代教育への取り組み)」の4分野を軸に、2030年ビジョンで設けた新たな枠組みである「ひと思い活動」、「くらし思い活動」、「環境思い活動」を意識した取り組みを展開しています。



➡ このまちと共に成長・発展

芸術・文化振興、地域振興

「第33回広響ホットコンサート」の開催

中国地方唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団(広響)」のサポートと地域貢献を目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

2019年度は、広島文化学園HBGホールにて「広島ガス110年分の感謝を旋律に乗せて」と題して、クラリネット奏者 赤坂達三氏を迎え、1,600名を超えるお客さまに華やかな名曲をお楽しみいただきました。また、コンサート会場にて平成30年7月豪雨災害への義援金を募りました。



コンサートステージ

「広島インドネシア協会」における国際交流活動

インドネシア共和国との友好・信頼関係を深めるとともに、両国間の交流推進を目的として、約220の法人・個人会員のご支援のもと、1996年から広島インドネシア協会の事務局を運営しています。特に、多くのインドネシア留学生在が在籍している広島大学、広島で働いているインドネシア人看護師・介護福祉士の方々、インドネシアと関わりのある地元企業などと連携し、年間行事として総会・インドネシア共和国独立記念祭・講演会・インドネシア文化に親しむ会・インドネシア料理を楽しむ会などの活動を行っています。



広島インドネシア協会独立記念祭

ひろしまフラワーフェスティバルへの参加・神楽フェスティバルへの協賛

地域の皆さまとともに、地域の活性化に向けて

毎年5月3日～5日に開催され、全国的にも多くの来場者数(2019年:約170万人)を誇るひろしまフラワーフェスティバルは、1977年の第1回開催以来、2019年で43回目を迎えました。広島ガスは毎年ブース出展しており、2019年はバドミントンにちなんだ参加型ゲームやストラップ作りなどを展開し、多くの皆さまにお越しいただきました。また、ステージ出展では広島ガスバドミントン部やスキー部の竹内智香選手のトークショーを開催するとともに、広島電鉄(株)と共同での神楽フェスティバルへの協賛などを通じて祭りを盛り上げました。

※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、ひろしまフラワーフェスティバル、神楽フェスティバルは中止となりました。



ひろしまフラワーフェスティバル GASLANDブース



バドミントンミニゲーム



ステージイベント

地域のスポーツ振興に向けた取り組み

バドミントン部

S/Jリーグ上位をめざして

バドミントン部は、1995年3月に創部した女子実業団チームです。国内最高峰である「バドミントンS/Jリーグ」などの上位をめざして、日々活動を続けています。



S/Jリーグ(山口大会)



全日本社会人バドミントン選手権大会

地域貢献

地域貢献活動として、中学生・高校生の広島県代表選手の指導、また地域の小学校などで講習会を行い、次世代の子どもたちにバドミントンを通してスポーツの魅力を伝えていきます。



バドミントン講習会(地域の子どもたちへの指導)



スキー部

海外遠征など競技活動

スノーボード・アルペン競技の竹内智香選手は、2011年から広島ガススキー部に所属し、数々の国際大会に出場しています。



竹内智香選手



中学校での授業講演



スノーボード用品寄贈



スノーボード教室

次世代育成・地域貢献活動

スポーツの魅力を伝える学校訪問授業のほか、ひろしま観光大使としても活動。2019年度にはオリジナルスノーボード用品を公的機関に寄贈し、スノーボード教室を行うなど、広島での地域貢献活動にも力を入れています。



サンフレッチェ広島
「広島ガススポンサードゲーム」を開催

「サンフレッチェ広島」のサポートと地域の活力アップへの願いを含め、毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。多くの役職員やWeb会員当選者の方々がエディオンスタジアム広島に集結し、熱い声援を送りました。ハーフタイムには創立110周年の横断幕を掲げてスタジアムを一周し、感謝の気持ちを伝えました。



サンフレッチェ広島スポンサードゲーム(2019年8月)

広島東洋カープ
「広島ガススポンサードゲーム」を開催

「このまち思いエネルギー。広島ガススポンサードゲーム」として2018年度から開催しており、2019年度には創立110年記念として、Web会員55組110名様のご招待や広島ガスブースでの花のフォトスポットの設置などを通じて、多くの方楽しんでいただきました。



カープスポンサードゲーム(2019年9月)

広島東洋カープ地元4社で合同応援を実施

地域の活性化をめざし、中国電力(株)、(株)広島銀行、(株)中電工、広島ガスの4社で地元プロ野球球団である広島東洋カープの合同応援を実施しています。

教育支援(次世代教育への取り組み)

地域貢献活動の一環として、行政、教育委員会、学校、業界などと連携し、火育、食育、エネルギー・環境教育、防災教育などの次世代教育に積極的に取り組んでいます。

次世代教育活動をまとめたパンフレットやホームページなどを通じて、小学校・中学校を中心としたさまざまな対象学年や習熟度にに応じて選択いただけるよう、出張授業などを紹介・募集しています。



次世代教育プログラム
パンフレット



ホームページ「こどもエネルギー ACTION!!!」
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/action>

出張授業

食育

エコ・クッキング※教室【小学生・中学生対象】

※「エコ・クッキング」は、東京ガス㈱の登録商標です

食べ物やエネルギーを大切にすることを学び、ムダのない調理の工夫などを通じて環境について学ぶプログラムです。買い物・料理・片づけに関する学習を中心に、ガストピアセンターや小学校・中学校などで実施しています。



味覚教室の様子

味覚教室【小学生対象】

基本の「味」とは何かを学びます。味覚教室では、味覚、視覚、嗅覚、聴覚、触覚の五感を養うことができます。

火育

火育教室【小学生対象】

炎を上手に扱うことでたくさんの恵みを受けられることを学び、さまざまな炎の観察や比較、火おこし体験などを通じて「火に親しみ、火を学ぶ」体験ができます。



火育教室の様子

エネルギー・環境教育

サイエンスショー

【小学生・中学生対象】

冷熱・燃焼実験や燃料電池実験を通じて、天然ガスの特性やエネルギーや環境の大切さなどをわかりやすく伝え、理科や科学の楽しさを体験することができます。なお、サイエンスショーは、小学校・中学校に加え、県や市の公的な施設・イベントなどでも実施しています。

技術研究所 理科実験授業

【小学生・中学生対象】

技術研究所の職員が、天然ガスや燃料電池に関わる実験を通じて、「エネルギーと環境」についてわかりやすく伝えていきます。



実験の様子

防災教育

ライフライン防災教室【小学生・保護者対象】

広島市水道局、中国電力㈱と広島ガスが3者合同で、小学生とその保護者の方を対象とした防災教室を開催しています。災害が起こった際に役立つ、ガス・電気・水道に関する知識の提供を通じて子どもたちの防災意識を高めることを目的に実施しています。

また、2016年度からは広島ガス単独での広島ガス防災教室も実施しています。



広島ガス防災教室の様子

科学講座

スーパーサイエンスミュージアム(SSM)【小学生対象】

2019年度で17年目をむかえたSSMは、科学を通じて子どもたちの豊かな感性・創造性を育てることを目的に、産・学・官が連携した広島県内の教育機関、学校、科学館などの関係者がプロジェクトを組み、2003年度から実施している取り組みです。

対象は小学校5～6年生の選抜メンバーで、学習指導要領にとられない高度な理科講座を年間17回程度開催し、地元企業や博物館などとの連携プログラムも取り入れています。



実験の様子

情報発信・お客さま満足度向上の取り組み

すべてのステークホルダーの皆さまに広島ガスグループの活動などをご理解いただけるよう、さまざまな情報発信を行っています。具体的には、ホームページや各種法定書類などを通じたIR・環境保全に関する情報開示、プレスリリース、グループ広報誌などを通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。

報道発表

広島ガスグループのトピックスや財務状況などの情報は、記者会見、プレスリリースなどを適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまに速やかかつ確実に伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。



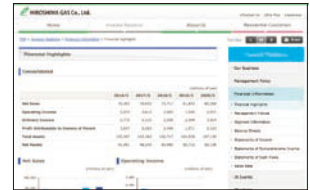
記者会見



ホームページ「プレスリリース」

IR関連

決算短信、有価証券報告書を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行、会社説明会を実施するなど、適宜、広島ガスの活動内容や財務状況の全容を開示しています。



ホームページ「IR情報」(英語)



会社説明会(個人投資家向け)



会社説明会(アナリスト向け)

グループ広報誌

グループ役職員が経営重要事項をしっかり情報共有することで、グループ全体の価値向上を図ることを目的に、グループ広報誌「GASLAND」を発行しています。グループ会社の役職員に加え、同業他社、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダーなどにも配布し、広島ガスグループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GASLAND」

企業スローガンの浸透に向けて

企業スローガン「このまち思いエネルギー。」に込めた思いをより多くの皆さまにお伝えするため、ドラマCM「このまち思い物語」を放映しています。また、2018年度からは新たにエピソード募集キャンペーン「このまち思い出物語」を実施しています。さまざまな媒体を通じて、広島の魅力をお伝えするための活動を展開しています。



エピソード募集キャンペーン「このまち思い出物語」

【CMライブラリー】 <https://www.hiroshima-gas.co.jp/home/cm/>
【このまち思い出物語】 <https://www.hiroshima-gas.co.jp/konomachi-ene/episode/result.htm>

イベント出展

住宅展示場や広島ガスショールームでのイベントを通じて、安心して快適なガス機器のよさを体感していただくための活動をしています。



住宅展示場での出展ブース

消費者団体との懇談会

当社事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため(公社)広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。



(公社)広島消費者協会との定例懇談会

ガス展開催

2019年度のガス展は、「このまち思いガス展」として、広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)で開催し、10月26日(土)からの2日間で約2万7千人のお客さまにお越しいただきました。呉・尾道・広島ガスプロパングループ各地でもガス展を開催し、多くのお客さまにご来場いただきました。各会場では、創立110周年を迎えるにあたっての感謝の気持ちをお伝えするとともに、エネファームなどの最新ガス機器の展示・体験を通して、ガスのある快適で環境にやさしい暮らしを提案しました。



広島会場



呉会場



尾道会場

求める人材像「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」

広島ガスが求める人材像は、「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」です。具体的には、謙虚さや感謝の気持ち、思いやりを兼ね備えることによる高い人間力と、必要な知識、責任感、使命感を持つことによる高い現場力を有しており、主体的に考え行動し、さまざまな仲間と一体感を持って協働していけるバランスの取れた人材です。従業員全員が、この「求める人材像」をめざして、さまざまな取り組みを行っています。

全員が総合職

ガス事業は、保安の確保と安定供給を前提として成り立つ事業であり、事業運営をより安定的かつ効率的に進めることが求められています。そのためには、すべての部署が協力して物事を進めることが大切で、従業員が自分の職場や役割を超え、つねに全体のリスク低減や全体最適を考え、行動することが必要である

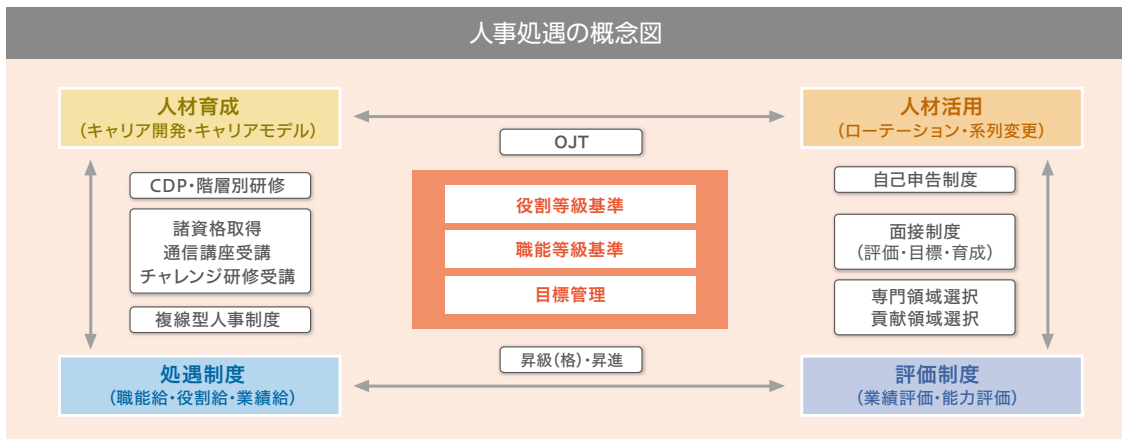
ため、従業員は全員が総合職として活躍しています。製造・供給・営業・管理業務など、さまざまな業務を経験することが可能であり、本人の適性や希望もふまえ、適材適所で個人の能力が最大限発揮できるような配属を行っています。

人事処遇制度

2030年ビジョンの基本方針の一つとして「地域に必要とされる創造性豊かな人材の育成と活用」を掲げています。

会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがい・働きがいの向上」に向けて、役職員全員が組織の目標達成をめざしてチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

広島ガスでは、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事処遇制度を構築・運用しています。そのために能力や成果を評価する評定者に対しては、新任管理職研修などの機会を利用し、評定者訓練などを実施しています。



人材育成制度

業務に直結する専門技術や技能の習得・向上研修に加え、従業員個人の資質向上のための研修や自己啓発支援など、人材育成

のためにさまざまな取り組みを行っています。従業員のチャレンジを支援し、その成果を人事処遇制度とリンクさせています。

【研修体系図】

	新入社員						管理職
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修		主任研修	係長研修	課長代理研修	新任管理職研修	管理職研修
キャリア開発研修 (CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	CDP1 (入社半年後研修)	CDP3 (入社3年目研修)	CDP30 (30歳次研修)			CDP40 (40歳次研修)	CDP50 (50歳次研修)
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉〈企画力〉〈折衝・調整力〉 〈指導力〉〈決断力〉など						
ガス技能研修 (社内資格研修など)	技能資格研修〈営業 (機器関係など)〉・〈供給 (配管関係など)〉 技能向上研修 (スキルアップ)〈営業〉〈供給〉・オーダーメイド研修 など						
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップなど)	各種部門内研修 各種社外講演会						
人権啓発推進	コンプライアンス研修会						
国内外留学	キャリアチャレンジ支援・国内留学・海外留学						
自己啓発支援	通信講座受講支援・資格取得支援・マネジメント力養成講座・オンライン英会話						
その他	メンター研修・チーフ研修・女性活躍推進・定年退職再雇用者など						

働きやすい職場環境をめざして

従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

働き方改革への取り組み

「働き方改革」については、2017年度から広島ガスとしての取り組みを開始しており、①総労働時間の短縮(長時間労働の是正)、②多様で柔軟な働き方への環境整備、③女性の活躍推進の3つを軸として活動を進めています。

「決められた時間で仕事をやりきる意識・風土への改革」をめざし、従業員の労働時間に対する意識向上に向けた取り組みを行っています。

① 総労働時間短縮への取り組み

≫ ノー残業デー

●部署ごとに残業をせず定時での退社を推奨する日を設定

② 多様で柔軟な働き方への環境整備

≫ フレックスタイム制度

●1日の所定労働時間を固定せず、1ヵ月単位で総労働時間を管理していく制度

●社員一人ひとりが、自分の労働時間に裁量を持つことで、効率的な勤務が可能

≫ 育児短時間フレックス勤務制度

●社員の育児支援策の一環として、1日の所定労働時間を短縮した4種類の勤務パターンを設定。仕事と育児の両立を支援

【育児短時間フレックス制度利用者の推移】

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
育児短時間フレックス利用者(人)	9	11	12	13	17

③ 女性の活躍推進への取り組み

≫ 女性の採用に占める割合を30%以上とする

≫ 女性の職域を拡大する(配属先の多様化)

●今後、女性社員のさらなる活躍を促し、多様な人材の活躍推進につなげるため、新卒採用における女性採用率の向上、さまざまな業務経験を通じて育成を図るための女性の職域拡大を実施

従業員の活躍を支援する仕組みの一つとして、「育児・介護休業制度」の利用を促すとともに、2009年から「育児短時間フレックス勤務制度」の導入や、2015年からフレックスタイム制度の利用拡大など働きやすい職場環境づくりを推進しています。これらは男女ともに働き方や育児・介護参加の視点による取り組みであり、社会的責任をはたす上でも大変重要であると考えています。

【育児休業制度利用者と復職率の推移】

区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
育児休業制度利用者(人)	5	2	5	4	8
育児休業制度利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100

社員の声 育児休暇を取得

2018年11月に第一子を出産し、育児休業を取得後、2019年11月に復職しました。

復職前は、限られた時間の中で、仕事と子育てとの両立ができるのか少し不安な部分もありましたが、短時間勤務制度を利用することで、子どもとの時間も大切に過ごすことができている。

子どもの急な体調不良などでお休みをいただくことがあり、職場の方々にご迷惑をおかけしていますが、フォローをしていただき大変感謝しています。

限られた勤務時間のため、業務をやりくりするのが大変なこともありますが、その分集中して業務に取り組み、仕事も子育ても充実させていけたらと思います。



営業技術部
家門 里帆

人材の確保

企業として健全に発展していくために、安定した新卒採用活動や、定年退職後の継続再雇用制度の運用、障がい者雇用など、多様な人材の確保に取り組んでいます。

採用にあたっては「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」を確保すべく、男女雇用機会均等法を順守し、公正かつ公平な選考を行っています。

採用後は、女性の職域拡大など「やりがい・働きがいのある職場づくり」に取り組んでいます。

人権啓発推進活動

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広がす人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」や、広島ガスグループを含めた全部門からなる「人権啓発推進事務局」、「セクハラ相談窓口」を設置し、人権啓発推進活動の向上を図るとともに、全役職員が相談しやすい体制づくりにも力を入れています。

また、「人権に関するアンケート」を広島ガスグループ全体で毎

【雇用状況の推移】

※()内の数値は女性

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
期末要員数[人]	676(116)	669(119)	669(127)	661(133)	672(137)
平均年齢[歳]	43.5(39.9)	43.4(39.9)	43.5(39.7)	43.3(39.5)	43.6(39.5)
平均勤続[年]	18.9(15.1)	18.7(15.2)	18.9(14.5)	18.6(14.1)	18.4(13.3)
新卒採用[人]	12(3)	17(4)	21(7)	22(7)	20(8)
定年退職[人]	11	10	12	11	8
(うち再雇用[人])	(9)	(7)	(10)	(9)	(7)
障がい者雇用数[人]	15	14	15	17	18

年実施しており、その結果を基に、全役職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を全事業所で実施し、人権啓発意識の向上に努めています。その他にも、「人権講演会」、「ハラスメント研修会」の開催や、毎月7日を「マナーの日」と定め、あいさつ運動を各事業所で実施するなど、働きやすい職場環境づくりを進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連(同和問題の解決をめざす広島企業連絡会)に加入し、地元企業と連携した人権啓発推進活動にも取り組んでいます。

労働安全衛生の取り組み

労働安全衛生活動の方針と体制

基本方針

広島ガスグループは労働安全衛生に関する基本方針を定め、従業員の安全・健康管理を推進し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

広島ガスグループ安全衛生基本方針

広島ガスグループは、従業員が安心して働くことのできる「安全な職場」の実現と「心身の健康」の保持増進を経営の重要課題として位置付けるとともに、経営者ならびに全ての従業員は、「安全と健康は全てに優先する」という考えのもと、「安全で働きやすい職場環境」の実現に向けて、以下の項目に取り組む。

① 法令順守

- 安全衛生に関する法令、社内規程、社内基準および作業マニュアルなどを順守する。

② 安全衛生意識の向上

- 安全衛生に関する教育・訓練を通じて安全衛生に対する意識の向上を図る。

③ 安全文化の構築

- 安全最優先の考え方・行動が根付いた安全文化を構築する。
- 業務に潜む危険に対する感受性を高め、率先してリスク低減に努める。

④ 健康づくりの推進

- 心身の健康づくりのため、健康保持増進の環境整備、機会の提供に取り組む。
- 心身の健康づくりに自ら率先して取り組む。

推進体制

安全衛生管理組織のもと、本社地区の安全衛生委員会(担当役員参加)を中心として、各事業所にも安全衛生委員会を設置し、連携しながら安全衛生活動を推進しています。

また、経営会議への安全衛生活動状況の定期報告などを通じて活動内容の充実に努めています。

労働災害の防止

安全意識の向上

安全意識の向上のため、労働安全に関する情報を「安全ニュース」として定期的に発行し、社内イントラネット上の掲示板に掲載しています。

また、安全意識を徹底し定着させることを目的に、2016年から毎年「安全大会」を開催するなど、労働災害防止に努めています。



安全大会

健康の保持・増進

従業員の健康の保持増進に向けて、産業保健スタッフ(産業医・保健師)が中心となり、きめ細かい健康管理を行っています。

健康診断

広島ガスの定期健康診断の受診率は毎年100%を達成しています。また、健康診断項目も年々充実させており、法定検査項目以上の水準で実施しています。

健康診断時には保健師による問診を実施するとともに、健康診断後にも全従業員を対象に保健師が面談などのフォローを行い、一人ひとりに対して健康診断結果に基づいた食事指導や、運動その他日常生活指導を行うなど、きめ細かい健康指導を行っています。



産業医の健康指導

メンタルヘルス対策

メンタルヘルス疾患の予防・早期発見のため、以下の対策を中心に今後も継続・強化していきます。

- ①全従業員を対象にしたストレスチェックを2013年から実施。
- ②毎年、全従業員を対象にメンタルヘルス研修会を実施。
- ③新入社員、人事異動者を中心に保健師によるフォロー面談を実施。
- ④相談体制として、産業医・保健師による対応の他、外部機関の相談窓口を設置。

長時間労働対策

労使による専門委員会を通じ幅広く協議を進め、業務の効率化を推進するとともに、時間外労働の削減、有給休暇取得促進について全社で取り組んでいます。

また、長時間労働者が発生した場合は、本人・上司に対して実態調査をするるとともに、該当する従業員に対して「疲労蓄積度チェック」を行い、必要に応じて産業医・保健師が面談を行うなど、健康面の配慮を行っています。

健康管理意識の向上

2018年7月に企業を通じてがん予防知識などの普及を図る広島県の取り組みである「Team(チーム)がん対策ひろしま」に企業登録を行いました。

県内のがん患者支援団体イベントの周知やがん予防をテーマとした研修を開催し、がんに関する知識の普及を通じて、従業員の健康管理意識の向上に取り組んでいます。



こくぶ かつひこ
國部 克彦 氏

神戸大学大学院
経営学研究科 教授

広島ガスのCSR活動の特徴は、地域に根付いた着実な活動と、それだけにとどまらない、積極的な事業展開にあると思います。前者については、創立110周年事業をはじめ、芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援をはじめ、実に幅広く展開されています。特に出張授業などの教育支援は広島ガスの特徴がよく出ているものです。今後とも地域社会の発展に力を注いでいただきたいと思います。積極的な事業展開については、新規事業戦略室を設立され、米国ガス火力発電事業へ出資されたり、地域新電力会社に出資されるなど、将来を見据えた活動が展開されているのも注目されます。

環境面では、廿日市工場のコージェネレーション設備の高効率化と、その成果が認められての「コージェネ大賞2019」の受賞が特筆に値します。家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大も含めて、環境保全の最前線で技術的な努力を継続されていることは高く評価できます。

これからは新型コロナウイルスと共存していく時代にならざるを得ないと思います。広島ガスでは、コロナ対策についてもCSR報告書で詳しく報告し、広島ガス産業医の富田氏の意見を入れられるなど、きめ細かい配慮が見られます。この点についても地域に対して一つのモデルを示すような役割を期待しています。



とみた ようへい
富田 洋平 氏

広島ガス株式会社
産業医

企業の産業医として

企業には労働者に対して安全配慮義務がある一方、労働者にも自己保健義務があります。それゆえ労働者は安全で健康に働けるよう、自らの健康を管理していかなければなりません。生活上あるいは業務上でのストレスにより、身体、心、行動、考えは容易に変化します。その変化に早めに気づき、対処していくことで不調を予防できる可能性があります。また、「自分らしさ」を自覚して働くことも重要です。自分の長所を生かして働くことはストレス軽減のみならず、活力やパフォーマンス向上につながります。企業にも「その企業らしさ」があります。「地域社会から信頼される会社をめざす」という理念を持つ広島ガスは、110年という歴史の中で、地域から信頼され続け現在に至ります。今後も、信頼という素晴らしい文化が社内ですらに熟成され、地域や関わる皆さまに安心を与え続けるものと期待いたします。産業医として微力ながらサポートさせていただきます。

今年は、新型コロナウイルスの影響でさまざまな活動が延期や中止に追い込まれ、五里霧中の状況です。危機的状況下においては、人の心にも変化が現れます。不安や恐怖、抑うつや倦怠感、イライラや怒り、差別や偏見といったものです。まずは冷静になり、自分のあり方を再確認しましょう。そして、いつも以上に周囲とのつながりを意識し、信頼感、安心感を育てましょう。霧が晴れた時、この人生でよかった、そう思えるように。



かのえ ひろあき
鹿江 宏明 氏

比治山大学
現代文化学部 教授

次世代を育む取り組みへの期待

私たちの社会は、現在、科学技術や情報通信技術の進化により、社会や経済の構造が日々大きく変化する時代の中にあります。また、近年は新たな社会とされるSociety5.0への入口にあたり、これからは、今までにない新しい価値の創出とともに、SDGsが掲げる目標への取り組みを通して、持続可能な社会に向けた一人ひとりの具体的な行動が期待されています。

このような時代にあって、次世代を担う子どもたちを育てる教育が果たす役割はきわめて大きいと考えます。特に、科学技術立国を標榜する我が国において理科教育、科学教育は重要であり、この教育を通して自然をとらえる「見方」や「考え方」を育成することが求められています。

広島ガスとともに2003年から取り組んでいる「スーパーサイエンスミュージアム」では、子どもたちが自然に直接ふれるとともに、自然を考える研究者の「考え方」にも直接ふれることを通して「自分で見て、自分で考える」ことを大切にしています。近年はICTを活用した効率的な学びが注目されていますが、生物としての「脳」に注目すると、私たちの脳は、からだの五感を総動員して感じた情報をもとに考える活動を基盤としています。自ら自然に直接ふれ、自分で考えることが、やがて、これからの社会を変革できる新しい視点や世界を拓く資質・能力につながります。

このような理科教育を支える科学文化が広島で醸成されることにより、広島から新しい社会に向けたイノベーションがより多く発信されていくことに大きな期待を寄せています。

広島ガスの概要

1909年(明治42年)10月30日に創立。日本のガス事業者としては1872年に開業した横浜瓦斯灯会社から数えて22番目、中国地方では最初のガス事業者となりました。以来、110年以上にわたり地域の皆さまとともに着実に歩み続けてきました。

現在では、広島市を中心に県内7市とその周辺地域の414千戸のお客さまに、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスを主な原料とした都市ガスをお届けしています。

本社所在地 / 広島市南区皆実町2丁目7-1
TEL 082-251-2151(代表)

創 立 / 1909年10月

資 本 金 / 51億8千1百万円

従 業 員 数 / 672名

- 事 業 内 容 /
- ① ガス事業
 - ② ガス器具の販売
 - ③ 液化天然ガスの販売

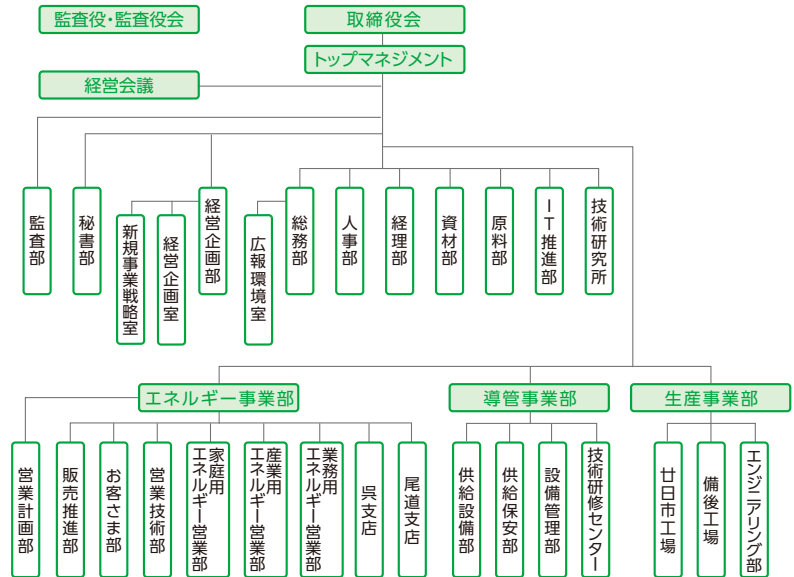
(2020年3月31日現在)



広島ガス本社地区

■ 組織図

(2020年4月1日現在)



◎地域のサービス窓口

■ ガスショップ

(ガスショップ 営業時間) 9:00 ~ 17:30(月~土)

1 ガスショップ 安芸店	広島市安芸区船越南3丁目1-14 TEL 082-821-1055	7 ガスショップ 祇園店	広島市安佐南区西原5丁目13-1 TEL 082-850-3505
2 ガスショップ 宇品店	広島市南区宇品神田2丁目12-19 TEL 082-253-1261	8 ガスショップ 高陽店	広島市安佐北区落合南1丁目3-10 TEL 082-842-4433
3 ガスショップ 五日市店	広島市佐伯区海老園2丁目7-43 TEL 082-922-3670	9 ガスショップ 呉店	呉市中央1丁目6-16 TEL 0823-23-5050
4 ガスショップ 古江店	広島市西区古江新町6-4 TEL 082-272-0050	10 ガスショップ 尾道店	尾道市天満町3-2 TEL 0848-22-4378
5 ガスショップ タカノ橋店	広島市中区大手町5丁目10-19 TEL 082-243-7520	11 ガスショップ 可部店	広島市安佐北区亀山9丁目13-7 TEL 082-814-3322
6 ガスショップ 白島店	広島市中区東白島町17-17 TEL 082-228-1000	12 ガスショップ 西条店	東広島市西条御条町4-38 TEL 082-493-8801

■ ショールーム

最新ガス機器を体感いただき、
温かなガスのある暮らしへ

体感・展示設備(一例)

- 家庭用燃料電池 (エネファーム)
- 床暖房・浴室暖房 比較体感ルーム
- ミストサウナ体感ルーム
- ためて! キッチン (厨房比較)
- 太陽光発電
- リフォーム商材

● ガストピアセンター



広島市中区南竹屋町1-30
TEL.082-240-8888

● ガストピア安芸



広島市安芸区船越南3丁目1-14
TEL.082-821-1130

● ガストピア五日市



広島市佐伯区海老園2丁目7-43
TEL.082-923-5678

● ガストピア呉



呉市中央1丁目6-16
TEL.0823-22-1262

● ガストピア祇園



広島市安佐南区西原5丁目13-1
TEL.082-850-3506

● ガストピアおのみち



尾道市天満町3-2
TEL.0848-22-2161

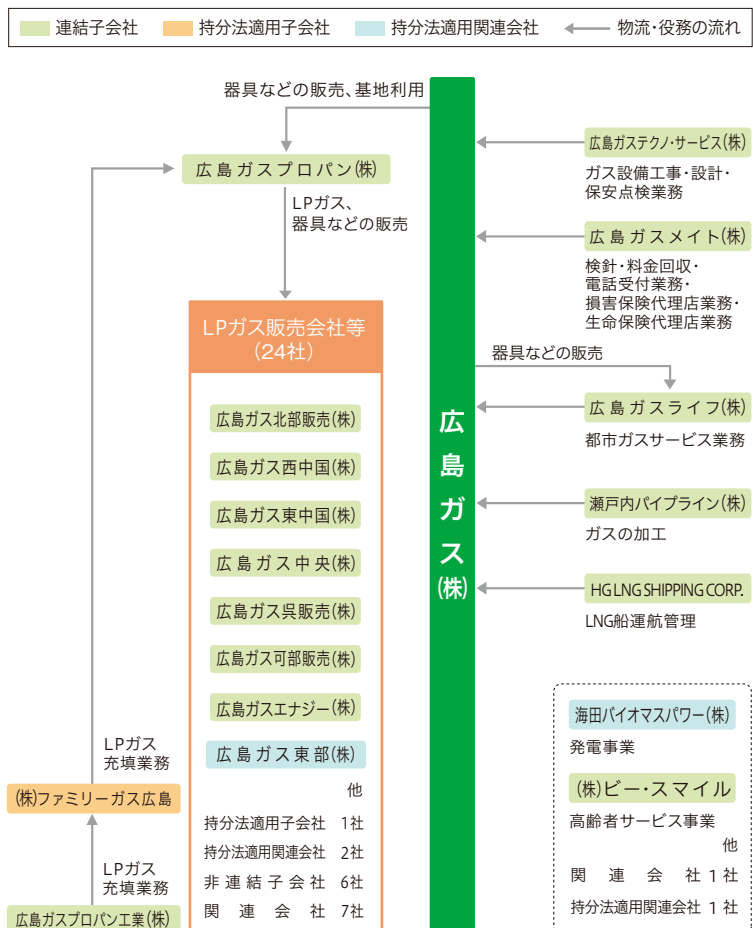
広島ガスグループの概要

広島ガスグループ(広島ガス、子会社23社および関連会社13社により構成)においては、ガス事業、LPG事業を主として行っています。



■ 事業系統図 (2020年3月31日現在)

広島ガス株を中心に子会社・関連会社を含めて37社で構成されています。



■ 主な子会社の概要 (2020年3月31日現在)

- 広島ガスプロパン株式会社**
 資本金/3億円 設立/1969年3月
 売上高/10,138百万円 従業員数/88名
- 広島ガステクノ・サービス株式会社**
 資本金/8千万円 設立/1998年6月
 売上高/10,663百万円 従業員数/207名
- 広島ガスメイト株式会社**
 資本金/2千万円 設立/1975年4月
 売上高/913百万円 従業員数/152名
- 広島ガスライフ株式会社**
 資本金/1.5千万円 設立/2018年6月
 売上高/3,561百万円 従業員数/155名
- 株式会社ビー・スマイル**
 資本金/5千万円 設立/2001年6月
 売上高/173百万円 従業員数/24名
- 瀬戸内パイプライン株式会社**
 資本金/1億5千万円 設立/2003年5月
 売上高/1,117百万円 従業員数/10名
- HG LNG SHIPPING CORPORATION**
 資本金/1百万円 設立/2005年2月
 売上高/3,445百万円



〒734-8555 広島市南区皆実町2丁目7-1
広島ガス株式会社 総務部 広報環境室
☎082-252-3154 (直通)

<https://www.hiroshima-gas.co.jp/>

広島ガスCSR報告書 2020 2020年7月発行

《表紙デザイン》



ゆめ咲くシャボン玉、飛んだ！
緑の公園で元気に遊ぶ子どもたちのまわりにフワフワうかぶシャボン玉。そのなかにはLNG船やガスホルダーなどのエネルギー資源の絵が見えます。さまざまなエネルギーを通じた「幸せにつながる感動発信」をイメージしています。

※本誌掲載の写真は、2019年度またはそれ以前に撮影したものです。



このレポートの印刷する際の電力300kWhは、自然エネルギーでまかなわれています。

UD FONT
見やすいユニバーサルフォントを採用しています。